

1 「いわてスタンダード」「Gアップシート」とは

岩手県教育委員会と岩手県立総合教育センターは、中学生の学力向上をめざし、平成18年度に国語・数学・英語の3教科で「いわてスタンダード」と「Gアップシート」を作成し、県内全中学校にその冊子を配付した。

また、平成20年度からは、岩手県立総合教育センターwebページに学習サイトをリンクし、「Gアップシート」を県内の先生方や生徒が直接ダウンロードして学習できるように環境を整え、活用促進を図ってきた。

「いわてスタンダード」とは

学習指導要領及び、国立教育政策研究所が作成した評価規準の設定例を基に、その単元において生徒に身に付けさせるべき力を「岩手の中学生に身に付けさせたい力」として、明確化・焦点化・細分化・具体化等をして示したものである。

* 「岩手の中学生に身に付けさせたい力」

平成18年度は、生徒の学力的課題から指導内容そのものの重点化を図り、それを「中核となる力」と名付けた。しかし、今回の改訂に伴い、学習指導要領の内容の重点化を図るのではなく、内容のすべてを十分に身に付けさせたいとの考えから、すべての内容を指導レベルで示すこととし、それを「岩手の中学生に身に付けさせたい力」と名付けた。「岩手の中学生に～」には、「岩手の中学生に岩手の先生が願いを込めて設定した」という意味が込められている。

「Gアップシート」とは

「いわてスタンダード」に示した「岩手の中学生に身に付けさせたい力」と設問が、できるだけ、1対1対応となるように工夫した評価問題である。

これらは、教師にとっては授業改善に向けた参考資料となり、生徒にとっては学力向上に向けた問題集的役割を果たすものとなる。

2 活用の方針

(1) 教師の授業改善に結び付ける。

- ① 「いわてスタンダード」
 - ・教師が、学習指導要領の目標や内容を十分に指導するための指標とする。
 - ・教師が、評価規準の設定や授業づくりの参考資料とし、これまでの指導を振り返ることができるようにする。
- ② 「Gアップシート」
 - ・教師が、思考力、判断力、表現力等を高めるための活用を意識した設問を参考に、授業での学習活動や課題、発問の在り方を検討できるようにする。
 - ・教師が、評価規準をもとに評価する方法の参考にできるようにする。

(2) 生徒の主体的学習を支援し、学習内容の定着を図る。

- ① 「いわてスタンダード」
 - ・生徒が、(単元で)どんな力を身に付ければよいのかを知るための、教科シラバス(学習計画)とすることができるものとする。
- ② 「Gアップシート」
 - ・生徒が、授業の予習や復習として家庭学習で取り組むことができるようにする。
 - ・生徒が、朝学習や放課後学習でも活用できるように、各教科の1シート(1回分)を10～20分程度の内容とする。
 - ・生徒が、定着が図られていない内容を繰り返し学習できるように工夫する。

(3) 学校が一丸となって学力向上に取り組むことができるツールとする。

- ・国語、数学、英語の3教科に限らず、他教科にとっても評価規準の設定方法や授業づくり、評価方法の参考にできる。
- ・国語、数学、英語について、教科担任だけでなく全校体制で、家庭学習の充実や学習内容の定着に取り組むことができる。

○国語「いわてスタンダード」の見方

言語活動例（国立成句研究所「評価規準の作成、評価方法等の工夫改善のための参考資料」）

言語活動例	① 学習指導要領の内容	② 評価規準の設定例（国立教育政策研究所）	③ 岩手の中学生に身に付けさせたい力	④ シート番号 （●：授業中の活動）
イ 文章と図表との関係を考えながら説明の文章を読む言語活動を通じた指導				
	<p>【国語への関心・意欲・態度】</p> <p>学習指導要領の内容</p>	<p>文章</p> <p>国立政策研究所 「評価規準の作成、評価方法等の工夫改善のための参考資料」より 評価規準の設定例</p>	<p>岩手の中学生に身に付けさせたい力</p>	<p>Gアップシート シート番号 小問番号</p>
	抽象		具体	
	<p>文章の理解</p> <p>意味の理解</p> <p>文章の解釈</p> <p>自分の考えの形成</p> <p>読書と活用</p>	<p>文章の理解</p> <p>意味の理解</p> <p>文章の解釈</p> <p>自分の考えの形成</p> <p>読書と活用</p>	<p>文章の理解</p> <p>意味の理解</p> <p>文章の解釈</p> <p>自分の考えの形成</p> <p>読書と活用</p>	<p>文章の理解</p> <p>意味の理解</p> <p>文章の解釈</p> <p>自分の考えの形成</p> <p>読書と活用</p>
	<p>【言語についての知識・理解】</p> <p>イ 言葉の特徴やきまりに関する事項</p> <p>ウ 漢字に関する事項</p>	<p>【言語についての知識・理解】</p> <p>文章</p> <p>説明</p> <p>文章</p>	<p>【言語についての知識・理解】</p> <p>文章</p> <p>説明</p> <p>文章</p>	<p>【言語についての知識・理解】</p> <p>文章</p> <p>説明</p> <p>文章</p>

学習過程

国語科「いわてスタンダード」の構成

国語科「いわてスタンダード」は各言語活動ごとに作成され、縦に学習過程、横に指導事項の抽象から具体を意識して構成されている。

表を縦に見ると、単元の学習過程の流れにそって指導事項を確認することができる。

表を横に見ると、指導要領の内容と、実際の授業レベルで生徒に身に付けさせなければならない力を知ることができる。

記号について

【 】 Gアップシート問題番号

● 授業での評価場面、方法

※ 複数の「いわての中学生に身に付けさせたい力」に対応した問題

第1章 国語

第1 教科目標，評価の観点及びその趣旨等

1 教科目標

国語を適切に表現し正確に理解する能力を育成し，伝え合う力を高めるとともに，思考力や想像力を養い言語感覚を豊かにし，国語に対する認識を深め国語を尊重する態度を育てる。

2 評価の観点及びその趣旨

評価の観点	評価の趣旨
国語への関心・意欲・態度	国語で伝え合う力を進んで高めるとともに，国語に対する認識を深め，国語を尊重しようとする。
話す・聞く能力	目的や場面に応じ，適切に話したり聞いたり話し合ったりして，自分の考えを豊かにしている。
書く能力	相手や目的，意図に応じ，筋道を立てて文章を書いて，自分の考えを豊かにしている。
読む能力	目的や意図に応じ，様々な文章を読んだり読書に親しんだりして，自分の考えを豊かにしている。
言語についての知識・理解・技能	伝統的な言語文化に親しんだり，言葉の特徴やきまり，漢字などについて理解し使ったりするとともに，文字を正しく整えて速く書いている。

3 内容のまとめり

国語科においては，学習指導要領の内容の「A 話すこと・聞くこと」「B 書くこと」「C 読むこと」「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」を内容のまとめりとした。

第2 内容のまとめりごとの評価規準に盛り込むべき事項及び評価規準の設定例

I 第1学年

1 学年の目標

- (1) 目的や場面に応じ，日常生活にかかわることなどについて構成を工夫して話す能力，話し手の意図を考えながら聞く能力，話題や方向をとらえて話し合う能力を身に付けさせるとともに，話したり聞いたりして考えをまとめようとする態度を育てる。
- (2) 目的や意図に応じ，日常生活にかかわることなどについて，構成を考えて的確に書く能力を身に付けさせるとともに，進んで文章を書いて考えをまとめようとする態度を育てる。
- (3) 目的や意図に応じ，様々な本や文章などを読み，内容や要旨を的確にとらえる能力を身に付けさせるとともに，読書を通してものの見方や考え方を広げようとする態度を育てる。

2 第1学年の評価の観点の趣旨

評価の観点	評価の趣旨
国語への関心・意欲・態度	国語で伝え合う力を進んで高めるとともに、国語に対する認識を深め、話したり聞いたり書いたりして考えをまとめ、読書を通してものの見方や考え方を広げようとする。
話す・聞く能力	目的や場面に応じ、構成を工夫して話したり、意図を考えながら聞いたり、話題や方向をとらえて話し合ったりしている。
書く能力	目的や意図に応じ、構成を考え、自分の考えや気持ちを根拠を明確にして文章に書いている。
読む能力	目的や意図に応じ、様々な本や文章などを読み、内容や要旨を的確にとらえて、自分のものの見方や考え方を広くしている。
言語についての知識・理解・技能	伝統的な言語文化に触れたり、言葉の特徴やきまり、漢字などについて理解し使ったりするとともに、文字を楷書で書き、漢字の行書の基礎的な書き方を理解して書いている。

3 学習指導要領の内容、内容のまとめりごとの評価規準に盛り込むべき事項及び評価規準の設定例

(1) 「A 話すこと・聞くこと」

【学習指導要領の内容】

(1) 話すこと・聞くこと的能力を育成するため、次の事項について指導する。

ア 日常生活の中から話題を決め、話したり話し合ったりするための材料を人との交流を通して集め整理すること。

イ 全体と部分、事実と意見との関係に注意して話を構成し、相手の反応を踏まえながら話すこと。

ウ 話す速度や音量、言葉の調子や間の取り方、相手に分かりやすい語句の選択、相手や場に応じた言葉遣いなどについての知識を生かして話すこと。

エ 必要に応じて質問しながら聞き取り、自分の考えとの共通点や相違点を整理すること。

オ 話合いの話題や方向をとらえて的確に話したり、相手の発言を注意して聞いたりして、自分の考えをまとめること。

・ 関連する〔伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項〕を含む。

(2) (1)に示す事項については、例えば、次のような言語活動を通して指導するものとする。

ア 日常生活の中の話題について報告や紹介をしたり、それらを聞いて質問や助言をしたりすること。

イ 日常生活の中の話題について対話や討論などを行うこと。

【「A 話すこと・聞くこと」の評価規準に盛り込むべき事項】

評価の観点	評価規準
国語への関心・意欲・態度	・目的や場面に応じ、構成を工夫して話したり、意図を考えながら聞いたり、話題や方向をとらえて話し合ったりしようとしている。
話す・聞く能力	・日常生活の中から話題を決め、話したり話し合ったりするための材料を人との交流を通して集め整理している。(ア) ・全体と部分、事実と意見との関係に注意して話を構成し、相手の反応を踏まえながら話している。(イ) ・話す速度や音量、言葉の調子や間の取り方、相手に分かりやすい語句の選択、相手や場に応じた言葉遣いなどについての知識を生かして話している。(ウ) ・必要に応じて質問しながら聞き取り、自分の考えとの共通点や相違点を整理している。(エ) ・話合いの話題や方向をとらえて的確に話したり、相手の発言を注意して聞いたりして、自分の考えをまとめている。(オ)
言語についての知識・理解・技能	・音声の働きや仕組みについて関心を持ち、理解を深めている。(イ(ア)) ・語句の辞書的な意味と文脈上の意味との関係に注意して話したり聞いたりしている。(イ(イ)) ・話したり聞いたりして、事象や行為などを表す多様な語句について理解を深めるとともに、話の中の語彙に関心をもっている。(イ(ウ)) ・単語の類別について理解し、指示語や接続詞及びこれらと同じような働きをもつ語句などに注意して話したり聞いたりしている。(イ(エ)) ・比喩や反復などの表現の技法について理解して、話したり聞いたりしている。(イ(オ))

『A 話すこと・聞くこと』における対応表（学習指導要領の内容、評価規準の設定例、岩手の中学生に身に付けさせたい力、問題番号）

言語活動例		ア 日常生活の話題について報告する言語活動を通した指導		
① 学習指導要領の内容	② 評価規準の設定例（国立教育政策研究所）	③岩手の中学生に身に付けさせたい力		④シート番号 （●：授業中の活動）
【国語への関心・意欲・態度】				
	・伝えたいことが相手によく分かるように、工夫して報告しようとしている。	<1>何についてどのように報告すればよいかの見通しをもつ <2>目的に沿って工夫して報告しようとしている <3>目的に沿って工夫して報告できたかを振り返る	●事前のワークシート ●報告場面（教師による観察） ●事後のワークシート	
【話す・聞く能力】				
話 や 題 取 設 材 定	ア 日常生活の中から話題を決め、話したり話し合ったりするための材料を人との交流を通して集め整理すること。	・身近な人への取材を通して体験や知識などの材料を集め、報告の目的を考えて整理している。（ア）	<1>目的に応じて話題・取材する相手を選ぶ <2>身近な人への取材を通して体験や知識などの材料を集める <3>集めた材料を報告の目的を考えて整理する	【話聞1-問一】【話聞2-問一】 【話聞1-問二】【話聞2-問二】 【話聞1-問三】【話聞2-問三】
話 す こ と	イ 全体と部分、事実と意見の関係に注意して話を構成し、相手の反応を踏まえながら話すこと。 ウ 話す速度や音量、言葉の調子や間の取り方、相手に分かりやすい語句の選択、相手や場に応じた言葉遣いなどについての知識を生かして話すこと。	・伝えたいことを分かりやすく報告するために、話をどのように組み立てるかを考えている。（イ） ・話す速度や音量、言葉の調子や間の取り方、相手に分かりやすい語句の選択、相手や場に応じた言葉遣いに注意して報告している。（ウ）	<1>伝えたいことを分かりやすく報告するために、話の組み立てを工夫する <2>話す速度、音量、言葉の調子、間の取り方に注意して話す <3>相手に分かりやすい語句の選択に注意して報告する <4>相手や場に応じた言葉遣いに注意して報告する	【話聞2-問四】 【話聞2-問五】 【話聞1-問四】 【話聞2-問六】
聞 こ く と	エ 必要に応じて質問しながら聞き取り、自分の考えとの共通点や相違点を整理すること。	・報告を聞いて質問し、相手が言いたいことを確かめたり、足りない情報を聞き出したりしている。（エ）	<1>報告を聞いて質問し、相手が言いたいことを確かめる <2>報告を聞いて質問し、足りない情報を聞き出す	【話聞2-問八】 【話聞1-問六】※【話聞2-問八】
話 う し こ 合 と	オ 話し合いの話題や方向をとらえて的確に話したり、相手の発言を注意して聞いたりして、自分の考えをまとめること。	・報告の内容について話し合い、自分の考えをまとめている。（オ）	<1>報告の内容について話し合い、自分の考えをまとめる	【話聞2-問九】【話聞2-問十】
言語についての知識・理解・技能				
イ 言葉の特徴や決まりに関する事項	・音声の働きや仕組みについて注意し、目的や場面に応じて適切な音量や抑揚などで話している。（イ(ア)） ・報告したい内容を適切に伝えるために、語句を選んでる。（イ(イ)） ・分かりやすい報告をするために、指示語や接続詞などを適切に使っている。（イ(エ)） ・必要に応じて反復などの表現を用いて重要な点を強調し、報告している。（イ(オ)）	<1>音声の働きや仕組みについて注意し、目的や場面に応じて適切な音量で話す <2>音声の働きや仕組みについて注意し、目的や場面に応じて適切な抑揚で話す <3>報告したい内容を適切に伝えるために、語句を選ぶ <4>分かりやすい報告をするために、指示語や接続詞を適切に使う <5>重要な点を強調して報告するために、必要に応じて反復などの表現を用いる	●報告場面（自己評価・相互評価） ●報告場面（自己評価・相互評価） 【話聞1-問五】 【話聞2-問七】 ●報告場面（教師による観察）	

言語活動例		イ 日常生活の話題について討論する言語活動を通した指導		
① 学習指導要領の内容		② 評価規準の設定例（国立教育政策研究所）	③岩手の中学生に身に付けさせたい力	④シート番号 ●：授業中の活動
【国語への関心・意欲・態度】				
		・互いの考えの共通点や相違点を整理し、建設的に話し合おうとしている。	<1>何についてどのように話し合えばよいかの見通しをもつ <2>目的に沿って建設的に話し合おうとしている <3>目的に沿って建設的に話し合えたかどうかを振り返る	●事前のワークシート ●討論場面（教師による観察） ●事後のワークシート
【話す・聞く能力】				
話 や 題 取 設 材 定	ア 日常生活の中から話題を決め、話したり話し合ったりするための材料を人との交流を通して集め整理すること。	・地域の人への取材を通して体験や知識などの材料を集め、自分の考えや意見を明確にしている（ア）	<1>目的に応じて取材方法を選ぶ <2>地域の人への取材を通して材料を集める <3>材料をもとに、自分の考えや意見を明確にする	【話聞4-問一】 【話聞4-問二】 【話聞4-問三】 【話聞3-問一】
話 す こ と	イ 全体と部分、事実と意見の関係に注意して話を構成し、相手の反応を踏まえながら話すこと。 ウ 話す速度や音量、言葉の調子や間の取り方、相手に分かりやすい語句の選択、相手や場に応じた言葉遣いなどについての知識を生かして話すこと。	・意見を述べる上で、事実や意見をどのように配列すると分かりやすいかを考えて話を構成し、文末表現などに注意するとともに根拠を明確にして話している。（イ） ・聞き手の受け止め方や理解の状況に注意して話している。（イ） ・話す速度や音量、言葉の調子や間の取り方、相手に分かりやすい語句の選択、相手や場に応じた言葉遣いに注意して話している（ウ）	<1>事実や意見をどのように配列すると分かりやすいかを考えて話を構成する <2>文末表現に注意して意見を話す <3>根拠を明確にして意見を話す <4>聞き手のうなずき、表情に注意して話す <5>話す速度、音量、言葉の調子、間の取り方に注意して話す <6>相手に分かりやすい語句の選択に注意して話す <7>相手や場に応じた言葉遣いに注意して話す	【話聞3-問二】 【話聞4-問五】 【話聞3-問三】 【話聞4-問七】 【話聞4-問四】 ●発言場面（自己評価） 【話聞4-問八】 【話聞4-問九】 【話聞4-問十】
聞 こ く と	エ 必要に応じて質問しながら聞き取り、自分の考えとの共通点や相違点を整理すること。	・相手の考えを聞いて、自分の考えとの共通点や相違点を整理している。	<1>相手の考えを聞いて、自分の考えとの共通点や相違点を整理する	【話聞3-問六】 【話聞4-問十一】
話 う し こ 合 と	オ 話し合いの話題や方向をとらえて的確に話したり、相手の発言を注意して聞いたりして、自分の考えをまとめること。	・話し合いの話題や方向をとらえ、自分の考えと比較しながら相手の話を聞き、自分の考えをまとめている。	<1>話し合いの話題や方向をとらえる <2>自分の考えと比較しながら話を聞く <3>話し合いを生かして自分の考えをまとめる	【話聞3-問五】 ●話し合い時のメモ 【話聞3-問七】 【話聞4-問十二】
言語についての知識・理解・技能				
イ	言葉の特徴や決まりに関する事項	・相手の話の中に出てくる、事象や行為などを表す多様な語句について関心を持ち、意味を確かめながら聞いている。（イ(ウ)） ・指示語や接続詞などを適切に使い、自分の考えを分かりやすく話している。（イ(エ)）	<1>事象や行為などを表す多様な語句について関心を持ち、意味を確かめながら聞く <2>自分の考えを分かりやすく話すために、指示語や接続詞を適切に使う	●討論場面（教師による観察） 【話聞3-問四】 【話聞4-問六】

(2) 「B 書くこと」

【学習指導要領の内容】

- (1) 書くことの能力を育成するため、次の事項について指導する。
- ア 日常生活の中から課題を決め、材料を集めながら自分の考えをまとめること。
 - イ 集めた材料を分類するなどして整理するとともに、段落の役割を考えて文章を構成すること。
 - ウ 伝えたい事実や事柄について、自分の考えや気持ちを根拠を明確にして書くこと。
 - エ 書いた文章を読み返し、表記や語句の用法、叙述の仕方などを確かめて、読みやすく分かりやすい文章にすること。
 - オ 書いた文章を互いに読み合い、題材のとらえ方や材料の用い方、根拠の明確さなどについて意見を述べたり、自分の表現の参考にしたりすること。
 - ・ 関連する〔伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項〕を含む。
- (2) (1)に示す事項については、例えば、次のような言語活動を通して指導するものとする。
- ア 関心のある芸術的な作品などについて、鑑賞したことを文章に書くこと。
 - イ 図表などを用いた説明や記録の文章を書くこと。
 - ウ 行事等の案内や報告をする文章を書くこと。

【「B 書くこと」の評価規準に盛り込むべき事項】

評価の観点	評価規準
国語への関心・意欲・態度	<ul style="list-style-type: none"> ・ 目的や意図に応じ、構成を考え、自分の考えや気持ちを根拠を明確にして文章に書こうとしている。
書く能力	<ul style="list-style-type: none"> ・ 日常生活の中から課題を決め、材料を集めながら自分の考えをまとめている。(ア) ・ 集めた材料を分類するなどして整理するとともに、段落の役割を考えて文章を構成している。(イ) ・ 伝えたい事実や事柄について、自分の考えや気持ちを根拠を明確にして書いている。(ウ) ・ 書いた文章を読み返し、表記や語句の用法、叙述の仕方などを確かめて、読みやすく分かりやすい文章にしている。(エ) ・ 書いた文章を互いに読み合い、題材のとらえ方や材料の用い方、根拠の明確さなどについて意見を述べたり、自分の表現の参考にしたりしている。(オ)
言語についての知識・理解・技能	<ul style="list-style-type: none"> ・ 語句の辞書的な意味と文脈上の意味との関係に注意して書いている。(イ(イ)) ・ 技能・文章を書いて、事象や行為などを表す多様な語句について理解を深めるとともに、文章の中の語彙について関心を持っている。(イ(ウ)) ・ 単語の種類について理解し、指示語や接続詞及びこれらと同じような働きを持つ語句などに注して書いている。(イ(エ)) ・ 比喻や反復などの表現の技法について理解して書いている。(イ(オ)) ・ 小学校学年別漢字配当表のうち900字程度の漢字を書き、文や文章の中で使っている。(ウ(イ)) <p>[書写]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 字形を整え、文字の大きさ、配列などについて理解して、楷書で書いている。(ア) ・ 漢字の行書の基本的な書き方を理解して書いている。(イ)

『B 書くこと』における対応表（学習指導要領の内容，評価規準の設定例，岩手の中学生に身に付けさせたい力，問題番号）

言語活動例	ア 関心のある芸術作品について，鑑賞したことを文章に書く言語活動を通した指導			
① 学習指導要領の内容	② 評価規準の設定例（国立教育政策研究所）	③岩手の中学生に身に付けさせたい力	④シート番号 （●：授業中の活動）	
[国語への関心・意欲・態度]				
	・関心のある芸術作品について，自分の印象や感動を分かりやすく文章に書こうとしている。	<1>何についてどのように書けばよいかの見通しをもつ <2>目的に沿って分かりやすく書こうとしている <3>目的に沿って分かりやすく書けたかどうかを振り返る	●事前のワークシート ●記述場面（教師による観察） ●事後のワークシート	
[書く能力]				
話 や 題 取 設 材 定	ア 日常生活の中から課題を決め，材料を集めながら自分の考えをまとめること。	・これまでに親しんだ芸術作品の中から対象を決め，様々な角度からそのよさについて考えている（ア）	<1>これまでに親しんだ芸術作品の中から鑑賞したことを書く対象を決める <2>様々な角度から作品のよさについて考える	●対象を選択する場面 （教師による観察） 【書く1-問一】 【書く2-問一】【書く2-問二】
構 成	イ 集めた材料を分類するなどして整理するとともに，段落の役割を考えて文章を構成すること。	・作品のよさを挙げて要素ごとに整理し，段落の役割を考えて文章を構成している。（イ）	<1>作品のよさを挙げて要素ごとに整理する <2>段落の役割を考えて文章を構成する	【書く1-問二】 【書く1-問三】【書く2-問三】
記 述	ウ 伝えたい事実や事柄について，自分の考えや気持ちを根拠を明確にして書くこと。	・作品のよさについて，表現の仕方，作り手の思いや見方，受けた印象や感動などを明確にして書いている。（ウ）	<1>作品のよさについて，表現の仕方を明確にして書く <2>作品のよさについて，作り手の思いや見方を明確にして書く <3>作品のよさについて，受けた印象や感動を明確にして書く	【書く1-問五】 【書く2-問四】 ※【書く1-問五】
推 敲	エ 書いた文章を読み返し，表記や語句の用法，叙述の仕方などを確かめて，読みやすく分かりやすい文章にすること。	・自分の考えた作品のよさやその根拠が相手に伝わるかどうかを確かめて，読みやすく分かりやすい文章にしている。（エ）	<1>推敲して，自分の考えた作品のよさやその根拠が伝わりやすい文章にする	【書く1-問六】
交 流	オ 書いた文章を互いに読み合い，題材のとらえ方や材料の使い方，根拠の明確さなどについて意見を述べたり，自分の表現の参考にしたりすること。	・書いた文章を互いに読み合い，作品のとらえ方や根拠の明確さなどについて意見を述べたり，自分の表現の参考にしたりしている。（オ）	<1>作品のとらえ方や根拠の明確さなどについて意見を述べる <2>読み合って学んだことを，自分の表現の参考にする	【書く1-問七】【書く2-問六】 ●記述場面（ワークシート）
言語についての知識・理解・技能				
イ 言葉の特徴やきまりに関する事項	・作品のよさを表す語句を集め，文脈に応じて使い分けている。（イ(ウ)） ・作品のよさを書き表すのに，比喩や反復などの表現の技法を，必要に応じて適切に用いている。（イ(オ)）	<1>多様な語句を文脈に応じて使い分ける <2>比喩や反復などの表現の技法を適切に用いる	【書く1-問四】【書く2-問五】 ●記述場面（ワークシート）	

言語活動例		イ 図表を用いた説明の文章を書く言語活動を通した指導					
① 学習指導要領の内容		② 評価規準の設定例（国立教育政策研究所）		③岩手の中学生に身に付けさせたい力		④シート番号 ●：授業中の活動	
[国語への関心・意欲・態度]							
		・図表を用いた説明の効果などを考え、分かりやすい文章を書こうとしている。		<1>何についてどのように書けばよいかの見通しをもつ <2>目的に沿って分かりやすく書こうとしている <3>目的に沿って分かりやすく書けたかどうかを振り返る		●事前のワークシート ●記述場面（教師による観察） ●事後のワークシート	
[書く能力]							
話 や 題 取 設 材 定	ア 日常生活の中から課題を決め、材料を集めながら自分の考えをまとめること。	・日常生活の経験等の中から、図表を用いて説明するのにふさわしい事柄を見つけ、その内容を簡単にまとめている。(ア)		<1>日常生活の経験等の中から、図表を用いて説明するのにふさわしい事柄を見つける <2>図表を用いて説明するのにふさわしい事柄の内容を、簡単にまとめる		【書く4-問一】	
構 成	イ 集めた材料を分類するなどして整理するとともに、段落の役割を考えて文章を構成すること。	・図表を示して説明する部分を意識しながら、段落を組み立てている。(イ)		<1>図表を示して説明する部分を意識しながら、段落を組み立てる		【書く3-問二】【書く3-問三】 【書く4-問三】	
記 述	ウ 伝えたい事実や事柄について、自分の考えや気持ちを根拠を明確にして書くこと。	・説明の必要な理由や目的、説明するものの概要を明確にして書いている。(ウ)		<1>説明の必要な理由や目的を明確にして書く <2>説明するものの概要を明確にして書く		【書く3-問四】 【書く4-問四】	
推 敲	エ 書いた文章を読み返し、表記や語句の用法、叙述の仕方などを確かめて、読みやすく分かりやすい文章にすること。	・説明と図表とが対応しているか、図表が説明の助けとなっているかを確認、読みやすく分かりやすい文章にしている。(エ)		<1>説明と図表とが対応しているか、図表が説明の助けとなっているかを確認、読みやすく分かりやすい文章にする		【書く3-問五】	
交 流	オ 書いた文章を互いに読み合い、題材のとらえ方や材料の使い方、根拠の明確さなどについて意見を述べたり、自分の表現の参考にしたりすること。	・書いた文章を互いに読み合い、図表の効果や説明の分かりやすさなどについて意見を述べたり、自分の表現の参考にしたりしている。(オ)		<1>図表の効果や説明の分かりやすさについて意見を述べる <2>交流した意見を自分の表現の参考にする		【書く3-問六】【書く4-問五】 【書く4-問六】	
言語についての知識・理解・技能							
イ 言葉の特徴やきまりに関する事項	・図表を説明するときに指示語や接続詞を工夫して使っている。(イ(エ))		<1>図表を説明する時に指示語や接続詞を工夫して使う		●記述場面(ワークシート)		
ウ 漢字に関する事項	・学年別漢字配当表に示されている漢字を適切に使って文章を書いている。(ウ(イ))		<2>学年別漢字配当表に示されている漢字を適切に使って文章を書く		●記述場面(ワークシート)		
	[書写] ・メモをとる際に、漢字の行書の基礎的な書き方を生かしている。(イ)		<3>メモをとる際に、漢字の行書の基礎的な書き方を生かす		●記述場面(ワークシート)		

言語活動例		ウ 行事等の案内をする文章を書く言語活動を通した指導		
① 学習指導要領の内容		② 評価規準の設定例 (国立教育政策研究所)	③岩手の中学生に身に付けさせたい力	④シート番号 (●: 授業中の活動)
[国語への関心・意欲・態度]				
		・行事等の案内をする文章の形式や役割を意識して、簡潔に文章を書こうとしている。	<1>何についてどのように書けばよいかの見通しをもつ <2>目的に沿って簡潔に書こうとしている <3>目的に沿って簡潔に書けたかどうかを振り返る	●事前のワークシート ●記述場面 (教師による観察) ●事後のワークシート
[書く能力]				
話 や 題 取 設 材 定	ア 日常生活の中から課題を決め、材料を集めながら自分の考えをまとめること。	・日常生活の中から案内をするのにふさわしい行事等を決め、案内すべき内容を簡単にまとめている。(ア)	<1>日常生活の中から案内をするのにふさわしい行事を決める <2>行事について、案内すべき内容を簡単にまとめる	【書く5-問一】 【書く5-問二】【書く6-問一】
構 成	イ 集めた材料を分類するなどして整理するとともに、段落の役割を考えて文章を構成すること。	・相手に案内すべき内容を、相手を誘う言葉と行事等の概要とに分けている。(イ)	<1>案内すべき内容を、誘う言葉と行事の概要とに分ける	【書く5-問三】【書く6-問二】
記 述	ウ 伝えたい事実や事柄について、自分の考えや気持ちを根拠を明確にして書くこと。	・行事等を案内する相手や目的、行事等の概要を明確にして書いている。(ウ)	<1>案内する相手や目的、行事の概要を明確にして書く	【書く6-問三】
推 敲	エ 書いた文章を読み返し、表記や語句の用法、叙述の仕方などを確かめて、読みやすく分かりやすい文章にすること。	・相手が来なくなるか、また相手に行事等の概要が伝わるかどうかを確かめ、読みやすく分かりやすい文章にしている。(エ)	<1>相手が来なくなるかに注意して推敲する <2>相手に行事の概要が伝わるかどうか確かめて推敲する	【書く5-問四】 【書く5-問五】
交 流	オ 書いた文章を互いに読み合い、題材のとらえ方や材料の使い方、根拠の明確さなどについて意見を述べたり、自分の表現の参考にしたこと。	・書いた文章を互いに読み合い、相手を誘う言葉の効果、行事等の概要の分かりやすさなどについて意見を述べたり、自分の表現の参考にしたこと。(オ)	<1>相手を誘う言葉の効果について意見を述べる <2>行事の概要の分かりやすさについて意見を述べる <3>交流した意見を自分の表現の参考にする	【書く5-問六】 ※【書く5-問六】 【書く6-問五】
言語についての知識・理解・技能				
ア 伝統的な言語文化に関する事項	・案内をする文章に特有の語句や慣用的な表現について、辞書でその意味を調べて使っている。(イ(イ)) [書写] ・件名と本文との字の大きさを変えるなど、漢字、仮名、数字のバランスを考慮して読みやすく整った楷書で書いている。(ア)	<1>案内をする文章に特有の語句について、辞書でその意味を調べて使う <2>案内をする文章に特有の慣用的な表現について、辞書でその意味を調べて使う	●記述場面 (案内文書) ●記述場面 (案内文書)	
イ 言葉の特徴やきまりに関する事項		<3>漢字、仮名、数字のバランスを考慮して整った楷書で書く	【書く6-問四】	

(3) 「C 読むこと」

【学習指導要領の内容】

- (1) 読むことの能力を育成するため、次の事項について指導する。
- ア 文脈の中における語句の意味を的確にとらえ、理解すること。
 - イ 文章の中心的な部分と付加的な部分、事実と意見などを読み分け、目的や必要に応じて要約したり要旨をとらえたりすること。
 - ウ 場面の展開や登場人物などの描写に注意して読み、内容の理解に役立てること。
 - エ 文章の構成や展開、表現の特徴について、自分の考えをもつこと。
 - オ 文章に表れているものの見方や考え方をとらえ、自分のものの見方や考え方を広くすること。
 - カ 本や文章などから必要な情報を集めるための方法を身に付け、目的に応じて必要な情報を読み取ること。
 - ・ 関連する〔伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項〕を含む。
- (2) (1)に示す事項については、例えば、次のような言語活動を通して指導するものとする。
- ア 様々な種類の文章を音読したり朗読したりすること。
 - イ 文章と図表などとの関連を考えながら、説明や記録の文章を読むこと。
 - ウ 課題に沿って本を読み、必要に応じて引用して紹介すること。

【「C 読むこと」の評価規準に盛り込むべき事項】

評価の観点	評価規準
国語への関心・意欲・態度	<ul style="list-style-type: none"> ・ 目的や意図に応じ、様々な本や文章などを読み、内容や要旨を的確にとらえて、自分のものの見方や考え方を広くしようとしている。
書く能力	<ul style="list-style-type: none"> ・ 文脈の中における語句の意味を的確にとらえ、理解している。(ア) ・ 文章の中心的な部分と付加的な部分、事実と意見などを読み分け、目的や必要に応じて要約したり要旨をとらえたりしている。(イ) ・ 場面の展開や登場人物などの描写に注意して読み、内容の理解に役立っている。(ウ) ・ 文章の構成や展開、表現の特徴について、自分の考えをもっている。(エ) ・ 文章に表れているものの見方や考え方をとらえ、自分のものの見方や考え方を広くしている。(オ) ・ 本や文章などから必要な情報を集めるための方法を身に付け、目的に応じて必要な情報を読み取っている。(カ)
言語についての知識・理解・技能	<ul style="list-style-type: none"> ・ 文語のきまりや訓読の仕方を知り、古文や漢文を音読して、古典特有のリズムを味わいながら、古典の世界に触れている。(ア(ア)) ・ 古典には様々な種類の作品があることを知っている。(ア(イ)) ・ 語句の辞書的な意味と文脈上の意味との関係に注意して読んでいる。(イ(イ)) ・ 文章を読んで、事象や行為などを表す多様な語句について理解を深めるとともに、文章の中の語彙について関心をもっている。(イ(ウ)) ・ 単語の類別について理解し、指示語や接続詞及びこれらと同じような働きをもつ語句などに注意して読んでいる。(イ(エ)) ・ 比喩や反復などの表現の技法について理解して読んでいる。(イ(オ)) ・ 小学校学年別漢字配当表に示されている漢字に加え、その他の常用漢字のうち250字程度から300字程度までの漢字を読んでいる。(ウ(ア))

『C 読むこと』における対応表（学習指導要領の内容，評価規準の設定例，岩手の中学生に身に付けさせたい力，問題番号）

言語活動例		アー1 様々な文章を音読したり朗読したりする言語活動を通した指導		
① 学習指導要領の内容	② 評価規準の設定例（国立教育政策研究所）	岩手の中学生に身に付けさせたい力		④シート番号 （●：授業中の活動）
[国語への関心・意欲・態度]				
	・音読や朗読をする文章の内容や表現に関心もち，工夫して読もうとしている。	<1>何についてどのように読めばよいかの見通しをもつ <2>目的に沿って工夫して読もうとしている <3>目的に沿って工夫して読めたかどうかを振り返る		●事前のワークシート ●朗読場面（教師による観察） ●事後のワークシート
[読む能力]				
味語の句理解意	ア 文脈の中における語句の意味を的確に捉え，理解すること。	・語句の意味を理解し想像力を働かせて文章を読み，朗読するときに注意する語句を選んでいる。（ア）	<1>語句の意味を理解し想像力を働かせて文章を読む <2>朗読するときに注意する語句を選ぶ	【読む1-問一】 ●読み取り場面（ワークシート）
文章の解釈	イ 文章の中心的部分と付加的な部分，事実や意見などを読み分け，目的や必要に応じて要約したり要旨をとらえたりすること。	・文章を朗読するために，登場人物の心情や行動，情景描写に注意して読み，内容の理解を深めている。（ウ）	<1>朗読するために，登場人物の心情や行動に注意して読み，内容の理解を深める	【読む1-問二】
	ウ 場面の展開や登場人物などの描写に注意して読み，内容の理解に役立てること。		<2>朗読するために，情景描写に注意して読み，内容の理解を深める	【読む1-問三】【読む2-問一】
自分の形の考え	エ 文章の構成や展開，表現の特徴について，自分の考えを持つこと。	・文章の表現の特徴や効果をとらえ，朗読の仕方を考えている。（エ） ・書き手のものの見方や考え方をとらえ，自分のものの見方や考え方を広げて朗読の仕方を考えている。（オ）	<1>朗読するために，文章の表現の特徴や効果をとらえる	【読む1-問四】【読む1-問五】
	オ 文章に表れているものの見方や考え方をとらえ，自分のものの見方や考え方を広くすること。		<2>朗読するために，書き手のものの見方や考え方をとらえ，自分の考えを広げる	【読む2-問二】 【読む2-問三】
情報書活用	カ 本や文章などから必要な情報を集めるための方法を身に付け，目的に応じて必要な情報を読み取ること。			
[言語についての知識・理解・技能]				
イ 言葉の特徴やきまりに関する事項	・語句の文脈上の意味をとらえ，それが文章の中で果たしている役割を考えながら読んでいる。（イ(イ)） ・多様な語句について理解し，朗読するときにどのように読んだらよいかを考えている。（イ(ウ)） ・表現技法の効果を理解し，朗読に役立てている。（イ(オ)）	<1>語句の文脈上の意味をとらえ，文章の中で果たしている役割を考える	<1>語句の文脈上の意味をとらえ，文章の中で果たしている役割を考える	※【読む1-問一】
		<2>多様な語句について理解する	<2>多様な語句について理解する	※【読む1-問一】
		<3>表現技法の効果を理解する	<3>表現技法の効果を理解する	●読解場面（ワークシート）

言語活動例		アー2 古文や漢文を音読したり朗読したりする言語活動を通した指導		
① 学習指導要領の内容		② 評価規準の設定例 (国立教育政策研究所)	③岩手の中学生に身に付けさせたい力	④シート番号 (●: 授業中の活動)
[国語への関心・意欲・態度]				
		・音読や朗読をする古文や漢文の内容や表現に関心を持ち、工夫して読もうとしている。	<1>何についてどのように読めばよいかの見通しをもつ <2>目的に沿って工夫して読もうとしている <3>目的に沿って工夫して読めたかどうかを振り返る	●事前のワークシート ●朗読場面 (教師による観察) ●事後のワークシート
[読む能力]				
味語の句理解意	ア 文脈の中における語句の意味を的確に捉え、理解すること。			
文章の解釈	イ 文章の中心的部分と付加的な部分、事実や意見などを読み分け、目的や必要に応じて要約したり要旨をとらえたりすること。 ウ 場面の展開や登場人物などの描写に注意して読み、内容の理解に役立てること。	・古文や漢文を朗読するために、登場人物の心情や行動、情景描写に注意して読み、内容の理解を深めている。(ウ)	<1>朗読するために、登場人物の心情や行動に注意して読み、内容の理解を深める <2>朗読するために、情景描写に注意して読み、内容の理解を深める	【読む3-問一】【読む4-問三】 【読む3-問二】
自分の形成	エ 文章の構成や展開、表現の特徴について、自分の考えを持つこと。 オ 文章に表れているものの見方や考え方をとらえ、自分のものの見方や考え方を広くすること。	・古文や漢文の表現の特徴や効果をとらえ、朗読の仕方を考えている。(エ)	<1>古文や漢文の表現の特徴や効果をとらえ、朗読の仕方を考える	【読む3-問四】【読む4-問二】
情報書活と用	カ 本や文章などから必要な情報を集めるための方法を身に付け、目的に応じて必要な情報を読み取ること。			
[言語についての知識・理解・技能]				
ア 伝統的な言語文化に関する事項	・文語のきまりや訓読の仕方を知り、古文や漢文を音読して、古典特有のリズムを味わいながら、古典の世界に触れている。(ア(ア))		<1>音読するために、文語のきまりや訓読の仕方を知る <2>古典特有のリズムを味わいながら、古典の世界に触れる	【読む3-問三】【読む4-問一】 ●朗読場面 (自己評価)

言語活動例		イ 文章と図表との関係を考えながら説明の文章を読む言語活動を通した指導		
① 学習指導要領の内容	② 評価規準の設定例 (国立教育政策研究所)	③岩手の中学生に身に付けさせたい力	④シート番号 (●: 授業中の活動)	
[国語への関心・意欲・態度]				
		・文章と図表との関連をとらえながら、説明の文章を読むようとしている。	<1>何についてどのように読めばよいかの見通しをもつ <2>目的に沿って読もうとしている <3>目的に沿って読めたかどうかを振り返る	●事前のワークシート ●読み取り場面 (教師による観察) ●事後のワークシート
[読む能力]				
味語の句理解意	ア 文脈の中における語句の意味を的確に捉え、理解すること。	・説明の文章を読み、文脈に即して語句の意味を的確にとらえ、キーワードを考えている。(ア)	<1>文脈に即して語句の意味を的確にとらえる <2>キーワードを考える	【読む5-問一】 【読む6-問一】 ●読み取り場面 (ワークシート)
文章の解釈	イ 文章の中心的部分と付加的な部分、事実や意見などを読み分け、目的や必要に応じて要約したり要旨をとらえたりすること。 ウ 場面の展開や登場人物などの描写に注意して読み、内容の理解に役立てること。	・説明されている事実と図表との関係を整理し、文章の要旨をとらえている。(イ)	<1>説明されている事実と図表との関係を整理する <2>文章の要旨をとらえる	【読む5-問二】 【読む6-問二】 【読む5-問四】 【読む6-問三】
考自分の形成	エ 文章の構成や展開、表現の特徴について、自分の考えを持つこと。	・説明の文章を展開する上で図表が果たしている役割をとらえ、その効果について自分の考えをもっている。(エ)	<1>説明の文章を展開する上で図表が果たしている役割をとらえ、その効果について自分の考えをもつ	【読む5-問三】
	オ 文章に表れているものの見方や考え方をとらえ、自分のものの見方や考え方を広くすること。	・説明されている内容についての書き手のものの見方や考え方をとらえ、自分の考えをもっている。(オ)	<2>書き手のものの見方や考え方をとらえ、自分の考えをもつ	【読む5-問五】 【読む6-問四】
情報書活と用	カ 本や文章などから必要な情報を集めるための方法を身に付け、目的に応じて必要な情報を読み取ること。	・関連する説明の文章を読み、文章と図表から必要な情報を得ている。(カ)	<1>関連する説明の文章を探して読む <2>文章と図表から必要な情報を得る	【読む6-問五】 ●読書場面 (レポート)
[言語についての知識・理解・技能]				
イ 言葉の特徴やきまりに関する事項 ウ 漢字に関する事項	・文章を読んで意味の分からない語句を辞書で調べ、文脈上の意味を考えている。(イ(イ))	・説明の文章を読んで自分の考えを書いたり述べたりする際に、より適切な語句を選んでいる。(イ(ウ))	<1>語句の意味を辞書で調べる <2>語句の文脈上の意味を考える <3>より適切な語句を選んで意見を表す	●読み取り場面 (教師による観察) ※【読む6-問一】 ●意見の記述場面 (ワークシート)
	・説明の文章を読む上で大切な指示語に注意している。(イ(エ))	・文章に用いられている漢字を正しく読んでいる。(ウ(ア))	<4>指示語に注意して読む <5>漢字を正しく読む	●読み取り場面 (教師による観察) ●読み取り場面 (教師による観察)

言語活動例		ウー1 課題に沿って本を読み、必要に応じて引用して紹介する言語活動を通した指導		
① 学習指導要領の内容		② 評価規準の設定例 (国立教育政策研究所)	③岩手の中学生に身に付けさせたい力	④シート番号 (●: 授業中の活動)
【国語への関心・意欲・態度】				
		・課題に沿って本を選び、その内容を進んで紹介しようとしている。	<1>何についてどのように紹介すればよいかの見通しをもつ <2>目的に沿って紹介しようとしている <3>目的に沿って紹介できたかどうかを振り返る	●事前のワークシート ●紹介場面 (教師による観察) ●事後のワークシート
【読む能力】				
味 語 の 句 理 の 解 意	ア 文脈の中における語句の意味を的確に捉え、理解すること。	・本を紹介するために、文脈に即して語句の意味を的確にとらえている。(ア)	<1>文脈に即して語句の意味を的確にとらえる	【読む7-問一】【読む8-問一】
	イ 文章の中心的部分と付加的な部分、事実や意見などを読み分け、目的や必要に応じて要約したり要旨をとらえたりすること。 ウ 場面の展開や登場人物などの描写に注意して読み、内容の理解に役立てること。	・本の紹介の仕方に応じて、文章を要約している。(イ) ・場面の展開や登場人物などの描写に注意して文章を読み、紹介したい部分を決定している。(ウ)	<1>紹介の仕方に応じて文章を要約する <2>紹介したい部分を決定するために、場面の展開に注意して読む <3>紹介したい部分を決定するために、登場人物の描写に注意して読む	【読む7-問二】【読む8-問二】 【読む7-問三】【読む8-問三】 【読む7-問五】【読む8-問四】
考 自 え 分 の 形 成	エ 文章の構成や展開、表現の特徴について、自分の考えを持つこと。	・文章の構成や展開、表現の特徴などを分析的にとらえ、自分の考えをもって、本を紹介している。(エ)	<1>紹介するために、文章の構成や展開を分析的にとらえ、自分の考えを持つ <2>紹介するために、表現の特徴を分析的にとらえ、自分の考えを持つ	【読む7-問四】※【読む8-問三】 【読む7-問六】【読む8-問五】
	オ 文章に表れているものの見方や考え方をとらえ、自分のものの見方や考え方を広くすること。	・選んだ本の文章に表れているものの見方や考え方について、共感したり疑問をもったりして自分の考えを広げ、本を紹介している。(オ)	<3>紹介するために、文章に表れているものの見方や考え方について、共感したり疑問をもったりして自分の考えを広げる	【読む7-問七】【読む8-問六】
情 読 報 書 活 と 用	カ 本や文章などから必要な情報を集めるための方法を身に付け、目的に応じて必要な情報を読み取ること。	・表題や目次などを参考にして課題に沿った本を選び、必要な情報を読み取っている。(カ)	<1>表題や目次から課題に沿った本を選ぶ <2>必要な情報を読み取る	【読む7-問八】【読む8-問七】 ●読書場面 (レポート)
言語についての知識・理解・技能				
イ 言葉の特徴やきまりに関する事項	・文章を読んで意味の分からない語句を辞書で調べ、文脈上の意味を考えている。(イ(イ))	<1>語句の意味を辞書で調べ、文脈上の意味を考える <2>文脈上の意味を考える	<3>漢字を正しく読む	●読み取り場面 (教師による観察) ※【読む7-問一】※【読む8-問一】
ウ 漢字に関する事項	・文章に用いられている漢字を正しく読んでいる。(ウ(ア))			●読み取り場面 (教師による観察)

言語活動例		ウー2 古典の文章を読み紹介する言語活動を通じた指導		
① 学習指導要領の内容		② 評価規準の設定例 (国立教育政策研究所)	③岩手の中学生に身に付けさせたい力	④シート番号 (●: 授業中の活動)
[国語への関心・意欲・態度]				
		・古典の文章に関心を持ち、その内容を進んで紹介しようとしている。	<1>何についてどのように紹介すればよいかの見通しをもつ <2>目的に沿って紹介しようとしている <3>目的に沿って紹介できたかどうかを振り返る	●事前のワークシート ●紹介場面 (教師による観察) ●事後のワークシート
[読む能力]				
味語の句理解意	ア 文脈の中における語句の意味を的確に捉え、理解すること。	・古典の文章を紹介するために、文脈に即して語句の意味をとらえている。(ア)	<1>紹介するために、文脈に即して語句の意味をとらえる	【読む9-問一】
文章の解釈	イ 文章の中心的部分と付加的な部分、事実や意見などを読み分け、目的や必要に応じて要約したり要旨をとらえたりすること。	・紹介の仕方に応じて、文章を要約している。(イ)	<1>紹介の仕方に応じて、文章を要約する	【読む9-問四】
	ウ 場面の展開や登場人物などの描写に注意して読み、内容の理解に役立てること。	・場面の展開や登場人物などの描写に注意して古典の文章を読み、紹介している。(ウ)	<2>紹介するために、場面の展開に注意して読む <3>紹介するために、登場人物の描写に注意して読む	【読む9-問三】※【読む9-問五】 【読む9-問二】※【読む9-問五】
考自の形成	エ 文章の構成や展開、表現の特徴について、自分の考えを持つこと。 オ 文章に表れているものの見方や考え方をとらえ、自分のものの見方や考え方を広くすること。			
情読書活用	カ 本や文章などから必要な情報を集めるための方法を身に付け、目的に応じて必要な情報を読み取ること。			
言語についての知識・理解・技能				
ア 伝統的な言語文化に関する事項	・古典には様々な種類の文章があることを理解している。(ア(イ))	<1>古典には様々な種類の文章があることを理解する		●事後のワークシート

II 第2学年

1 学年の目標

- (1) 目的や場面に応じ、社会生活にかかわることなどについて立場や考えの違いを踏まえて話す能力、考えを比べながら聞く能力、相手の立場を尊重して話し合う能力を身に付けさせるとともに、話したり聞いたりして考えを広げようとする態度を育てる。
- (2) 目的や意図に応じ、社会生活にかかわることなどについて、構成を工夫して分かりやすく書く能力を身に付けさせるとともに、文章を書いて考えを広げようとする態度を育てる。
- (3) 目的や意図に応じ、文章の内容や表現の仕方に注意して読む能力、広い範囲から情報を集め効果的に活用する能力を身に付けさせるとともに、読書を生活に役立てようとする態度を育てる。

2 第2学年の評価の観点の趣旨

評価の観点	評価の趣旨
国語への関心・意欲・態度	国語で伝え合う力を進んで高めるとともに、国語に対する認識を深め、話したり聞いたり書いたりして考えを広げ、読書を生活に役立てようとする。
話す・聞く能力	目的や場面に応じ、立場や考えの違いを踏まえて話したり、考えを比べながら聞いたり、相手の立場を尊重して話し合ったりしている。
書く能力	目的や意図に応じ、構成を工夫し、伝えたいことが効果的に伝わるように文章を書いている。
読む能力	目的や意図に応じ、内容や表現の仕方に注意して文章を読み、知識や体験と関連付けて自分の考えをもっている。
言語についての知識・理解・技能	伝統的な言語文化を楽しんだり、言葉の特徴やきまり、漢字などについて理解し使ったりするとともに、漢字の行書とそれに調和した仮名を書き、楷書又は行書を選んで書いている。

3 学習指導要領の内容、内容のまとめりごとの評価規準に盛り込むべき事項及び評価規準の設定例

(1) 「A 話すこと・聞くこと」

【学習指導要領の内容】

- (1) 話すこと・聞くことの能力を育成するため、次の事項について指導する。
- ア 社会生活の中から話題を決め、話したり話し合ったりするための材料を多様な方法で集め整理すること。
 - イ 異なる立場や考えを想定して自分の考えをまとめ、話の中心的部分と付加的部分などに注意し、論理的な構成や展開を考えて話すこと。
 - ウ 目的や状況に応じて、資料や機器などを効果的に活用して話すこと。
 - エ 話の論理的な構成や展開などに注意して聞き、自分の考えと比較すること。
 - オ 相手の立場や考えを尊重し、目的に沿って話し合い、互いの発言を検討して自分の考えを広げること。
 - ・ 関連する〔伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項〕を含む。
- (2) (1)に示す事項については、例えば、次のような言語活動を通して指導するものとする。
- ア 調べて分かったことや考えたことなどに基づいて説明や発表をしたり、それらを聞いて意見を述べたりすること。
 - イ 社会生活の中の話題について、司会や提案者などを立てて討論を行うこと。

【「A 話すこと・聞くこと」の評価規準に盛り込むべき事項】

評価の観点	評価規準
国語への関心・意欲・態度	<ul style="list-style-type: none"> ・目的や場面に応じ、立場や考えの違いを踏まえて話したり、考えを比べながら聞いたり、相手の立場を尊重して話し合ったりしようとしている。
話す・聞く能力	<ul style="list-style-type: none"> ・社会生活の中から話題を決め、話したり話し合ったりするための材料を多様な方法で集め整理している。(ア) ・異なる立場や考えを想定して自分の考えをまとめ、話の中心的な部分と付加的な部分などに注意し、論理的な構成や展開を考えて話している。(イ) ・目的や状況に応じて、資料や機器などを効果的に活用して話している。(ウ) ・話の論理的な構成や展開などに注意して聞き、自分の考えと比較している。(エ) ・相手の立場や考えを尊重し、目的に沿って話し合い、互いの発言を検討して自分の考えを広げている。(オ)
言語についての知識・理解・技能	<ul style="list-style-type: none"> ・話し言葉と書き言葉との違い、共通語と方言の果たす役割、敬語の働きなどについて理解して話したり聞いたりしている。(イ(ア)) ・抽象的な概念を表す語句、類義語と対義語、同音異義語や多義的な意味を表す語句などについて理解して話したり聞いたりし、語感を磨き語彙を豊かにしている。(イ(イ)) ・文の中の文の成分の順序や照応、文の構成などについて考えて話したり聞いたりしている。(イ(ウ)) ・単語の活用について理解し、助詞や助動詞などの働きに注意して話したり聞いたりしている。(イ(エ)) ・相手や目的に応じて、話の形態や展開に違いがあることを理解して話したり聞いたりしている。(イ(オ))

『A 話すこと・聞くこと』における対応表（学習指導要領の内容、評価規準の設定例、岩手の中学生に身に付けさせたい力、問題番号）

言語活動例		アー1 調べて分かったことについて説明する言語活動を通した指導		
① 学習指導要領の内容		② 評価規準の設定例（国立教育政策研究所）	岩手の中学生に身に付けさせたい力	④問題番号 （●：授業中の活動）
[国語への関心・意欲・態度]				
		・調べたり考えたりしたことなどについて、聞き手が理解しやすいように工夫して説明しようとしている。	<1>何についてどのように説明すればよいかの見通しをもつ <2>目的に沿って工夫して説明しようとしている <3>目的に沿って工夫して説明できたかを振り返る	●事前のワークシート ●発表場面（教師による観察） ●事後のワークシート
[話す・聞く能力]				
話 や 題 取 設 材 定	ア 社会生活の中から話題を決め、話したり話し合ったりするための材料を様々な方法で集め整理すること。	・様々な情報手段を活用して材料を集め、説明の目的に応じて整理している。(ア)	<1>様々な情報手段を活用して材料を集める <2>集めた材料を目的に応じて整理する	【話聞1-問一】【話聞2-問一】 【話聞2-問二】
話 す こ と	イ 異なる立場や考えを想定して自分の考えをまとめ、話の中心的部分と付加的な部分などに注意し、論理的な構成や展開を考えて話すこと。 ウ 目的や状況に応じて、資料や機器などを効果的に活用して話すこと。	・説明に対する聞き手の意見や質問を予想して、話の中心と付加的な部分との関係に注意し、分かりやすい構成や展開を考えて話している。(イ) ・分かりやすく説明するために、機器を活用して要点を示したり、写真や図などの資料を活用したりして話している。(ウ)	<1>聞き手の意見や質問を予想して話す <2>話の中心と付加的な部分との関係に注意して話す <3>分かりやすい構成や展開を考えて話す <4>機器を活用して要点を示す <5>写真や図などの資料を活用して話す	【話聞1-問二】【話聞2-問三】 【話聞1-問三】【話聞2-問四】 【話聞1-問四】 【話聞1-問五】 【話聞1-問六】【話聞2-問五】
聞 く こ と	エ 話の論理的な構成や展開などに注意して聞き、自分の考えと比較すること。	・説明を聞いて、話の要点や根拠となっている事実などをとらえ、自分の考えと比較して納得できるかどうか判断している。(エ)	<1>話の要点や根拠となっている事実をとらえる <2>自分の考えと比較して納得できるかどうか判断する	※【話聞1-問三】※【話聞2-問四】 ●聞き取り場面（ワークシート）
う 話 し 合 い	オ 相手の立場や考えを尊重し、目的に沿って話し合い、互いの発言を検討して自分の考えを広げること。	・説明を聞いて、質疑応答や意見交換をして、自分の考えを広げている。(オ)	<1>説明を聞いて質疑応答や意見交換をする <2>説明や質疑応答、意見交換から自分の考えを広げる	●話し合い場面（教師による観察） 【話聞1-問七】【話聞2-問六】
言語についての知識・理解・技能				
イ	言葉の特徴や決まりに関する事項	・目的や場面に応じ、話し言葉と書き言葉との違い、共通語と方言の果たす役割、敬語の働きなどについて注意して話している。(イ(ア)) ・相手に分かりやすい説明をするために、類義語、対義語などに注意して話している。(イ(イ)) ・相手に分かりやすい説明をするために、文の中の文の成分の順序や照応、文の構成などについて工夫している。(イ(ウ)) ・分かりやすく説明するために、助詞や助動詞などの働きに注意している。(イ(エ)) ・相手や目的に応じて、話の形態や展開に違いがあることを理解して話している。(イ(オ))	<1>話し言葉と書き言葉との違いに注意して話す <2>共通語と方言の果たす役割に注意して話す <3>敬語の働きについて注意して話す <4>類義語、対義語に注意して話す <5>文の中の文の成分の順序や照応について工夫する <6>文の構成について工夫する <7>助詞や助動詞の働きに注意する <8>相手や目的に応じて、話の形態や展開に違いがあることを理解して話す	●発表場面（教師による観察） ●発表場面（教師による観察） ●発表場面（教師による観察） ●発表場面（教師による観察） ●発表場面（教師による観察） ●発表場面（教師による観察） ●発表場面（教師による観察）

言語活動例	アー2 古典を読んで気付いたことについて発表する言語活動を通した指導		
① 学習指導要領の内容	② 評価規準の設定例 (国立教育政策研究所)	③岩手の中学生に身に付けさせたい力	④シート番号 (●: 授業中の活動)
[国語への関心・意欲・態度]			
	・調べたり考えたりしたことなどについて、聞き手が理解しやすいように工夫して説明しようとしている。	<1>何についてどのように説明すればよいかの見通しをもつ <2>目的に沿って工夫して説明しようとしている <3>目的に沿って工夫して説明できたかを振り返る	●事前のワークシート ●発表場面 (教師による観察) ●事後のワークシート
[話す・聞く能力]			
話 取 材 定	ア 社会生活の中から話題を決め、話したり話し合ったりするための材料を様々な方法で集め整理すること。		
話 す こ と	イ 異なる立場や考えを想定して自分の考えをまとめ、話の中心的部分と付加的な部分などに注意し、論理的な構成や展開を考えて話すこと。 ウ 目的や状況に応じて、資料や機器などを効果的に活用して話すこと。	・分かりやすく発表するために、機器を活用して話の中心を示したり、写真や図などの資料を活用したりして話している。(ウ)	<1>機器を活用して話の中心を示す <2>写真や図などの資料を活用して話す 【話聞3-問一】 【話聞4-問一】 【話聞3-問二】 【話聞4-問二】
聞 く こ と	エ 話の論理的な構成や展開などに注意して聞き、自分の考えと比較すること。		
う 話 し 合	オ 相手の立場や考えを尊重し、目的に沿って話し合い、互いの発言を検討して自分の考えを広げること。	・発表を聞いて、質疑応答したり話し合ったりして、古典についての自分の考えを広げている。(オ)	<1>発表を聞いて、質疑応答したり話し合ったりする <2>発表や質疑応答、話し合いから、自分の考えを広げる 【話聞3-問三】 【話聞4-問三】 【話聞3-問四】 【話聞4-問四】
言語についての知識・理解・技能			
ア 伝統的な言語文化に関する事項	・古典に表れたものの見方や考え方に触れ、登場人物や作者の思いなどを想像している。(ア(イ))	<1>古典に表れたものの見方や考え方に触れ、登場人物や作者の思いなどを想像する	●事後のワークシート

言語活動例		イ 社会生活の話題について司会や提案者を立てて討論する言語活動を通した指導		
① 学習指導要領の内容		② 評価規準の設定例（国立教育政策研究所）	③岩手の中学生に身に付けさせたい力	④問題番号 （●：授業中の活動）
[国語への関心・意欲・態度]				
		・異なる立場の考えを想定して、目的に沿って討論しようとしている。	<1>何についてどのように討論すればよいかの見通しをもつ <2>目的に沿って工夫して討論しようとしている <3>目的に沿って工夫して討論できたかを振り返る	●事前のワークシート ●討論場面（教師による観察） ●事後のワークシート
[話す・聞く能力]				
話題取捨材	ア 社会生活の中から話題を決め、話したり話し合ったりするための材料を様々な方法で集め整理すること。	・討論に向けて、様々な情報手段を活用して材料を集め、自分の意見を明確にしている。(ア)	<1>様々な情報手段を活用して材料を集める <2>材料をもとにして自分の意見を明確にする	【話聞5-問二】 【話聞5-問三】
話すこと	イ 異なる立場や考えを想定して自分の考えをまとめ、話の中心的部分と付加的な部分などに注意し、論理的な構成や展開を考えて話すこと。 ウ 目的や状況に応じて、資料や機器などを効果的に活用して話すこと。	・相手の反論や意見を予想して自分の考えをまとめ、自分の意見と根拠、予想される相手の意見への反論などを組み合わせて話を構成している。(イ) ・討論の際に説得力を高めるために、機器を活用して自分の意見の要点を示したり、グラフや表などの資料を活用して根拠を示したりしている。(ウ)	<1>相手の反論や意見を予想して自分の考えをまとめる <2>自分の意見と根拠、予想される相手の意見への反論を組み合わせて話を構成する <3>機器を活用して自分の意見の要点を示す <4>グラフや表などの資料を活用して根拠を示す	【話聞5-問四】 ※【話聞5-問四】 ●発表場面（教師による観察） 【話聞5-問五】
聞くこと	エ 話の論理的な構成や展開などに注意して聞き、自分の考えと比較すること。	・話の論理的な構成や展開などに注意して要点や根拠などを確かめながら聞き、自分の考えと比較して、賛成や反対などの判断をしている。(エ)	<1>話の論理的な構成や展開に注意して要点や根拠を確かめながら聞く <2>自分の考えと比較して話を聞き、賛成や反対の判断をする	●討論場面（ワークシート） ●討論場面（ワークシート）
話し合い	オ 相手の立場や考えを尊重し、目的に沿って話し合い、互いの発言を検討して自分の考えを広げること。	・目的に沿って提案や発言の内容を整理して話し合いを進行したり、理由や趣旨を明確にして提案したりするなど、討論の進め方を工夫している。(オ)	<1>目的に沿って提案や発言の内容を整理して話し合いを進行する <2>理由や趣旨を明確にして提案する	【話聞5-問七】【話聞5-問八】 【話聞5-問六】
言語についての知識・理解・技能				
ア 伝統的な言語文化に関する事項	・目的や場面に応じ、話し言葉と書き言葉との違い、共通語と方言の果たす役割、敬語の働きなどについて注意している。(イ(ア)) ・説得力のある話をするために、文の中の文の成分の順序や照応、文の構成などについて工夫している。(イ(ウ)) ・相手や目的に応じて、話の形態や展開に違いがあることを理解している。(イ(オ))	<1>話し言葉と書き言葉との違いに注意する <2>共通語と方言の果たす役割に注意する <3>敬語の働きなどについて注意する <4>文の中の文の成分の順序や照応について工夫する <5>文の構成について工夫する <6>話の形態や展開に違いがあることを理解する	●討論場面（教師による観察） ●討論場面（教師による観察） ●討論場面（教師による観察） ●討論場面（教師による観察） ●討論場面（教師による観察） 【話聞5-問一】	

(2) 「B書くこと」

【学習指導要領の内容】

(1) 書くことの能力を育成するため、次の事項について指導する。

- ア 社会生活の中から課題を決め、多様な方法で材料を集めながら自分の考えをまとめること。
 - イ 自分の立場及び伝えたい事実や事柄を明確にして、文章の構成を工夫すること。
 - ウ 事実や事柄、意見や心情が相手に効果的に伝わるように、説明や具体例を加えたり、描写を工夫したりして書くこと。
 - エ 書いた文章を読み返し、語句や文の使い方、段落相互の関係などに注意して、読みやすく分かりやすい文章にすること。
 - オ 書いた文章を互いに読み合い、文章の構成や材料の活用の仕方などについて意見を述べたり助言をしたりして、自分の考えを広げること。
 - ・ 関連する〔伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項〕を含む。
- (2) (1)に示す事項については、例えば、次のような言語活動を通して指導するものとする。
- ア 表現の仕方を工夫して、詩歌をつくったり物語などを書いたりすること。
 - イ 多様な考えができる事柄について、立場を決めて意見を述べる文章を書くこと。
 - ウ 社会生活に必要な手紙を書くこと。

【「B 書くこと」の評価規準に盛り込むべき事項】

評価の観点	評価規準
国語への関心・意欲・態度	・ 目的や意図に応じ、構成を工夫し、伝えたいことが効果的に伝わるように文章を書こうとしている。
書く能力	・ 社会生活の中から課題を決め、多様な方法で材料を集めながら自分の考えをまとめている。(ア) ・ 自分の立場及び伝えたい事実や事柄を明確にして、文章の構成を工夫している。(イ) ・ 事実や事柄、意見や心情が相手に効果的に伝わるように、説明や具体例を加えたり、描写を工夫したりして書いている。(ウ) ・ 書いた文章を読み返し、語句や文の使い方、段落相互の関係などに注意して、読みやすく分かりやすい文章にしている。(エ) ・ 書いた文章を互いに読み合い、文章の構成や材料の活用の仕方などについて意見を述べたり助言をしたりして、自分の考えを広げている。(オ)
言語についての知識・理解・技能	・ 話し言葉と書き言葉との違い、共通語と方言の果たす役割、敬語の働きなどについて理解して書いている。(イ(ア)) ・ 抽象的な概念を表す語句、類義語と対義語、同音異義語や多義的な意味を表す語句などについて理解して書き、語感を磨き語彙を豊かにしている。(イ(イ)) ・ 文の中の文の成分の順序や照応、文の構成などについて考えて書いている。(イ(ウ)) ・ 単語の活用について理解し、助詞や助動詞などの働きに注意して書いている。(イ(エ)) ・ 相手や目的に応じて、文章の形態や展開の違いがあることを理解して書いている。(イ(オ)) ・ 学年別漢字配当表に示されている漢字を書き、文や文章の中で使っている。(ウ(イ)) [書写] ・ 漢字の行書とそれに調和した仮名の書き方を理解して、読みやすく速く書いている。(ア) ・ 目的や必要に応じて、楷書又は行書を選んで書いている。(イ)

『B 書くこと』における対応表（学習指導要領の内容，評価規準の設定例，岩手の中学生に身に付けさせたい力，問題番号）

言語活動例		ア 表現の仕方を工夫して詩をつくる言語活動を通した指導		
① 学習指導要領の内容	② 評価規準の設定例（国立教育政策研究所）	③岩手の中学生に身に付けさせたい力	④問題番号 （●：授業中の活動）	
[国語への関心・意欲・態度]				
	・自分の感動が読み手に伝わるように，言葉の使い方や構成を工夫して詩をつくらうとしている。	<1>何についてどのように書けばよいかの見通しをもつ <2>目的に沿って工夫して書こうとしている <3>目的に沿って工夫して書けたかを振り返る	●事前のワークシート ●記述場面（教師による観察） ●事後のワークシート	
[書く能力]				
題 や 材 取 設 材 定	ア 社会生活の中から課題を決め，多様な方法で材料を集めながら自分の考えをまとめること。	・詩をつくるために，身近な体験の中での自分の心の動きをまとめている。（ア）	<1>身近な体験の中での自分の心の動きをまとめる	【書く1-問一】【書く2-問一】
構 成	イ 自分の立場及び伝えたい事実や事柄を明確にして，文章の構成を工夫すること。	・感動の中心を明らかにして，詩の構成を工夫している。（イ）	<1>感動の中心を明らかにして，詩の構成を工夫する	【書く1-問二】【書く2-問二】
記 述	ウ 事実や事柄，意見や心情が相手に効果的に伝わるように，説明や具体例を加えたり，描写を工夫したりして書くこと。	・感動の中心が読み手に伝わるように，描写を工夫して詩をつくっている。（ウ）	<1>感動の中心が伝わるように，描写を工夫して詩をつくる	●記述場面（ワークシート）
推 敲	エ 書いた文章を読み返し，語句や文の使い方，段落相互の関係などに注意して，読みやすく分かりやすい文章にすること。	・つくった詩を読み返し，描写や全体の構成などに注意して，読み手に感動が伝わりやすい詩にしている。（エ）	<1>感動の中心が伝わるように，描写や全体の構成に注意して推敲する	【書く1-問三】【書く2-問三】
交 流	オ 書いた文章を互いに読み合い，文章の構成や材料の活用の仕方などについて意見を述べたり助言をしたりして，自分の考えを広げること。	・つくった詩を互いに読み合い，書き手の感動，描写や構成の効果などを観点とした感想を交流し，自分の考えを広げている。（オ）	<1>書き手の感動，描写や構成の効果を観点とした感想を交流する <2>交流した感想から，自分の考えを広げる	【書く1-問四】【書く2-問四】 【書く2-問五】
言語についての知識・理解・技能				
イ 言葉の特徴やきまりに関する事項	・自分の感動を効果的に表現するために，助詞や助動詞の働きに注意して，詩に使う言葉を決めている。（イ(イ)）		<1>助詞や助動詞の働きに注意する	●記述場面（ワークシート）
ウ 漢字に関する事項	・学年別漢字配当表に示されている漢字を適切に使うとともに，仮名で表現する効果についても考えて詩をつくっている。（ウ(イ)）		<2>学年別漢字配当表に示されている漢字を適切に使う <3>仮名で表現する効果について考える	●記述場面（ワークシート） ●記述場面（ワークシート）
	[書写] ・詩を清書する際に，楷書または行書を選んで書いている。（イ）		<4>楷書または行書を選んで書く	●記述場面（ワークシート）

言語活動例		イ 多様な考えができる事柄について立場を決めて意見を述べる文章を書く言語活動を通した指導		
① 学習指導要領の内容		② 評価規準の設定例（国立教育政策研究所）	③岩手の中学生に身に付けさせたい力	④問題番号 （●：授業中の活動）
[国語への関心・意欲・態度]				
		・自分の立場や意見が読み手に伝わるように、根拠を明らかにして文章を書こうとしている。	<1>何についてどのように書けばよいかの見通しをもつ <2>目的に沿って工夫して書こうとしている <3>目的に沿って工夫して書けたかを振り返る	●事前のワークシート ●記述場面（教師による観察） ●事後のワークシート
[書く能力]				
題材設定	ア 社会生活の中から課題を決め、多様な方法で材料を集めながら自分の考えをまとめること。	・社会生活の中から課題を決め、学校図書館等を活用して材料を集め、自分の意見をまとめている。(ア)	<1>社会生活の中から課題を決める <2>学校図書館等を活用して材料を集める <3>集めた材料をもとに自分の意見をまとめる	●課題決定場面（観察） 【書く3-問一】【書く4-問一】 【書く4-問二】
構成	イ 自分の立場及び伝えたい事実や事柄を明確にして、文章の構成を工夫すること。	・自分の立場や意見を明らかにして、それを表明する部分を文章のどこに置くかについて考えている。(イ)	<1>自分の立場や意見を表明する部分を文章のどこに置くかについて考える	【書く3-問二】【書く4-問三】
記述	ウ 事実や事柄、意見や心情が相手に効果的に伝わるように、説明や具体例を加えたり、描写を工夫したりして書くこと。	・自分の立場や意見が効果的に伝わるように、根拠を説明したり具体例を用いたりして文章を書いている。(ウ)	<1>根拠を説明する文章を書く <2>具体例を用いて文章を書く	【書く3-問三】 【書く4-問四】
推敲	エ 書いた文章を読み返し、語句や文の使い方、段落相互の関係などに注意して、読みやすく分かりやすい文章にすること。	・意見と根拠との関係、文や段落のつながりなどに注意して、読み手に伝わりやすい文章にしている。(エ)	<1>意見と根拠との関係に注意して推敲する <2>文や段落のつながりに注意して推敲する	【書く4-問四】 【書く3-問四】
交流	オ 書いた文章を互いに読み合い、文章の構成や材料の活用の仕方などについて意見を述べたり助言をしたりして、自分の考えを広げること。	・書いた文章を互いに読み合い、課題に対する立場や意見の根拠の妥当性、文や段落のつながりなどを観点とした意見を述べ、自分の考えを広げている。(オ)	<1>課題に対する立場や意見の根拠の妥当性を観点とした意見を述べる <2>文や段落のつながりを観点とした意見を述べる <3>述べられた意見をもとに自分の考えを広げる	【書く3-問五】【書く4-問五】 【書く3-問六】 ●学習のまとめ場面(ワークシート)
言語についての知識・理解・技能				
イ 言葉の特徴やきまりに関する事項	ウ 漢字に関する事項	・自分の考えを明確に表現するために、辞書を活用するなどして、言葉の意味を吟味しながら文章を書いている。(イ(イ))	<1>辞書を活用して言葉の意味を吟味する	●記述場面（ワークシート）
		・主語と述語や修飾語と被修飾語の照応に注意し、書き手の意図が明確に伝わるように文章を書いている。(イ(ウ))	<2>主語と述語や修飾語と被修飾語の照応に注意する	●記述場面（ワークシート）
		・読み手に自分の考えやその根拠などが効果的に伝わるように文章の展開を工夫している。(イ(オ))	<3>読み手に自分の考えやその根拠などが効果的に伝わるように文章の展開を工夫する	※【書く3-問二】
		・学年別漢字配当表に示されている漢字を適切に使って文章を書いている。(ウ(イ))	<4>学年別漢字配当表に示されている漢字を適切に使う	●記述場面（ワークシート）

言語活動例		ウ 社会生活に必要なお礼の手紙を書く言語活動を通した指導		
① 学習指導要領の内容		② 評価規準の設定例（国立教育政策研究所）	③岩手の中学生に身に付けさせたい力	④問題番号 （●：授業中の活動）
[国語への関心・意欲・態度]				
		・手紙の形式を整えて、お世話になった相手への感謝の気持ちを表す手紙を書こうとしている。	<1>何についてどのように書けばよいかの見通しをもつ <2>目的に沿って工夫して書こうとしている <3>目的に沿って工夫して書けたかを振り返る	●事前のワークシート ●記述場面（教師による観察） ●事後のワークシート
[書く能力]				
題 材 取 設 材 定	ア 社会生活の中から課題を決め、多様な方法で材料を集めながら自分の考えをまとめること。	・お礼の手紙を書くために、相手に伝えたいことを具体的に挙げている。（ア）	<1>相手に伝えたいことを具体的に挙げる	【書く5-問一】
構 成	イ 自分の立場及び伝えたい事実や事柄を明確にして、文章の構成を工夫すること。	・相手に伝えたいお礼の内容の中心を明確にし、手紙の形式に沿って構成を考えている。（イ）	<1>お礼の内容の中心を明確にする <2>手紙の形式に沿って構成を考える	【書く5-問二】 【書く5-問三】
記 述	ウ 事実や事柄、意見や心情が相手に効果的に伝わるように、説明や具体例を加えたり、描写を工夫したりして書くこと。	・相手に対する感謝の気持ちが伝わるように、印象に残る出来事やその時の思いを具体的に書いている。（ウ）	<1>印象に残る出来事やその時の思いを具体的に書く	【書く5-問四】
推 敲	エ 書いた文章を読み返し、語句や文の使い方、段落相互の関係などに注意して、読みやすく分かりやすい文章にすること。	・相手への配慮、言葉の使い方、手紙の形式などに注意して、感謝の気持ちが相手に伝わりやすい手紙にしている。（エ）	<1>相手への配慮に注意して推敲する <2>言葉の使い方に注意して推敲する <3>手紙の形式に注意して推敲する	●推敲場面（ワークシート） ※【書く5-問四】 【書く5-問五】
交 流	オ 書いた文章を互いに読み合い、文章の構成や材料の活用の仕方などについて意見を述べたり助言をしたりして、自分の考えを広げること。	・書いた手紙を互いに読み合い、書き手の気持ちの表現、言葉の使い方などについて意見を述べたり、助言し合ったりしている。（オ）	<1>書き手の気持ちの表現を観点に話し合う <2>言葉の使い方を観点に話し合う	【書く5-問六A】 【書く5-問六B】
言語についての知識・理解・技能				
イ 言葉の特徴やきまりに関する事項	ウ 漢字に関する事項	・相手に対する自分の気持ちが適切に伝わるように、書き言葉における敬語の使い方に注意して文章を書いている。（イ(7)） ・目上の人に対する手紙を書くために、書式を整えて文章を書いている。（イ(オ)） ・学年別漢字配当表に示されている漢字を適切に使って手紙を書いている。（ウ(イ)） [書写] ・漢字の行書とそれに調和した仮名の書き方を理解して手紙を書いている。（ア）	<1>書き言葉における敬語の使い方に注意する <2>書式を整えて文章を書く <3>学年別漢字配当表に示されている漢字を適切に使う <4>漢字の行書とそれに調和した仮名の書き方を理解して書く	●記述場面（ワークシート） ※【書く5-問三】 ●記述場面（ワークシート） ●記述場面（ワークシート）

(3) 「C読むこと」

【学習指導要領の内容】

(1) 読むことの能力を育成するため、次の事項について指導する。

- ア 抽象的な概念を表す語句や心情を表す語句などに注意して読むこと。
- イ 文章全体と部分との関係、例示や描写の効果、登場人物の言動の意味などを考え、内容の理解に役立てること。
- ウ 文章の構成や展開、表現の仕方について、根拠を明確にして自分の考えをまとめること。
- エ 文章に表れているものの見方や考え方について、知識や体験と関連付けて自分の考えをもつこと。
- オ 多様な方法で選んだ本や文章などから適切な情報を得て、自分の考えをまとめること。

・関連する〔伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項〕を含む。

(2) (1)に示す事項については、例えば、次のような言語活動を通して指導するものとする。

- ア 詩歌や物語などを読み、内容や表現の仕方について感想を交流すること。
- イ 説明や評論などの文章を読み、内容や表現の仕方について自分の考えを述べること。
- ウ 新聞やインターネット、学校図書館等の施設などを活用して得た情報を比較すること。

【「C読むこと」の評価規準に盛り込むべき事項】

評価の観点	評価規準
国語への関心・意欲・態度	・目的や意図に応じ、内容や表現の仕方に注意して文章を読み、知識や体験と関連付けて自分の考えをもとうとしている。
書く能力	<ul style="list-style-type: none"> ・抽象的な概念を表す語句や心情を表す語句などに注意して読んでいる。(ア) ・文章全体と部分との関係、例示や描写の効果、登場人物の言動の意味などを考え、内容の理解に役立てている。(イ) ・文章の構成や展開、表現の仕方について、根拠を明確にして自分の考えをまとめている。(ウ) ・文章に表れているものの見方や考え方について、知識や体験と関連付けて自分の考えをもっている。(エ) ・多様な方法で選んだ本や文章などから適切な情報を得て、自分の考えをまとめている。(オ)
言語についての知識・理解・技能	<ul style="list-style-type: none"> ・作品の特徴を生かして朗読するなどして、古典の世界を楽しんでいる。(ア(ア)) ・古典に表れたものの見方や考え方に触れ、登場人物や作者の思いなどを想像している。(ア(イ)) ・話し言葉と書き言葉との違い、共通語と方言の果たす役割、敬語の働きなどについて理解して読んでいる。(イ(ア)) ・抽象的な概念を表す語句、類義語と対義語、同音異義語や多義的な意味を表す語句などについて理解して読み、語感を磨き語彙を豊かにしている。(イ(イ)) ・文の中の文の成分の順序や照応、文の構成などについて考えて読んでいる。(イ(ウ)) ・単語の活用について理解し、助詞や助動詞などの働きに注意して読んでいる。(イ(エ)) ・相手や目的に応じて、文章の形態や展開の違いがあることを理解して読んでいる。(イ(オ)) ・第1学年までに学習した常用漢字に加え、その他の常用漢字のうち300字程度から350字程度までの漢字を読んでいる。(ウ(ア))

『C 読むこと』における対応表（学習指導要領の内容、評価規準の設定例、岩手の中学生に身に付けさせたい力、教科書の単元、問題番号）

言語活動例		アー1 物語を読み、内容や表現の仕方について感想を交流する言語活動を通した指導			
① 学習指導要領の内容		② 評価規準の設定例（国立教育政策研究所）	③岩手の中学生に身に付けさせたい力	④問題番号 （●：授業中の活動）	
[国語への関心・意欲・態度]					
		・物語について感想をもち、交流して考えを深めようとしている。	<1>何についてどのように読めばよいかの見通しをもつ <2>目的に沿って読もうとしている <3>目的に沿って読むことができたかを振り返る	●事前のワークシート ●読み取り場面（教師による観察） ●事後のワークシート	
[読む能力]					
味語の句理解意	ア 抽象的な概念を表す語句や心情を表す語句などに注意して読むこと。	・心情や情景を表す語句について、体験や読書経験を生かして理解し、自分の感想をもっている。（ア）	<1>心情や情景を表す語句について経験を生かして理解する <2>理解したことをもとに、自分の感想をもつ	【読む1-問一】【読む2-問一】 ●読み取り場面（ワークシート）	
文章の解釈	イ 文章全体と部分の関係、例示や描写の効果、登場人物の言動の意味などを考え、内容の理解に役立てること。	・描写の効果や登場人物の言動の意味などを考えて物語の内容を理解し、自分の感想をもっている。（イ）	<1>描写の効果を考えて物語の内容を理解する <2>登場人物の言動の意味を考えて物語の内容を理解する <3>理解したことをもとに、自分の感想をもつ	【読む1-問三】【読む2-問二】 【読む1-問四】【読む2-問三】 ●読み取り場面（ワークシート）	
考自分の形成	ウ 文章の構成や展開、表現の仕方について、根拠を明確にして自分の考えをまとめること。	・感想を交流するために、物語の構成や展開、描写や比喩などの表現について、具体的な部分を取り上げて考えをまとめている。（ウ）	<1>感想を交流するために、物語の構成や展開について具体的な部分を取り上げて考えをまとめる <2>感想を交流するために、描写や比喩などの表現について具体的な部分を取り上げて考えをまとめる	【読む1-問二】【読む2-問五】 【読む1-問五】【読む2-問四】	
	エ 文章に表れているものの見方や考え方について、知識や体験と関連付けて自分の考えを持つこと。	・物語に表れているものの見方や考え方について、自分の知識や経験と関連付けて感想をまとめ、交流して深めている。（エ）	<3>物語に表れているものの見方や考え方について、自分の知識や経験と関連付けて感想をまとめる <4>物の見方や考え方についての感想を交流して深める	【読む1-問六】【読む2-問六】 ●交流場面（ワークシート）	
情報書活用	カ 多様な方法で選んだ本や文章などから適切な情報を得て、自分の考えをまとめること。	・図書館などを利用して関連する資料などを読み、自分の感想をまとめるのに役立っている。（カ）	<1>図書館などを利用して関連する資料などを読む <2>読み取ったことを自分の感想をまとめるのに役立てる	●読書場面（ワークシート） ●読書場面（ワークシート）	
言語についての知識・理解・技能					
イ 言葉の特徴やきまりに関する事項	・話し言葉と書き言葉との違い、共通語と方言の果たす役割、敬語の働きなどについての理解を、文章を読むことに役立っている。（イ(ア)） ・文章を読む際に、抽象的な概念を表す語句、類義語と対義語、同音異義語や多義的な意味を表す語句などに注意している。（イ(イ)）	・物語によって文章の形態や展開に違いがあることを意識しながら読んでいる。（イ(オ)） ・文章に用いられている漢字を正しく読んでいる。（ウ(ア)）	<1>話し言葉と書き言葉の違いの理解を読み役に役立てる <2>共通語と方言の果たす役割の理解を読み役に役立てる <3>敬語の働きについての理解を読み役に役立てる	●読み取り場面（ワークシート） ●読み取り場面（ワークシート） ●読み取り場面（ワークシート）	
			<4>抽象的な概念を表す語句に注意して読む <5>類義語と対義語に注意して読む <6>同音異義語や多義的な意味を表す語句に注意して読む <7>文章の形態や展開に違いがあることを意識しながら読む <8>漢字を正しく読む	※【読む1-問一】※【読む2-問一】 ●読み取り場面（ワークシート） ●読み取り場面（ワークシート） ※【読む1-問二】※【読む1-問五】 ※【読む2-問五】 ●読み取り場面（教師による観察）	

言語活動例		アー2 古文や漢文を読み感想を交流する言語活動を通した指導		
① 学習指導要領の内容		② 評価規準の設定例（国立教育政策研究所）	③ 評価規準の岩手の中学生に身に付けさせたい力	④ 問題番号 （●：授業中の活動）
[国語への関心・意欲・態度]				
		・古文や漢文について感想をもち、交流して考えを深めようとしている。	<1>何についてどのように読めばよいかの見通しをもつ <2>目的に沿って読もうとしている <3>目的に沿って読むことができたかを振り返る	●事前のワークシート ●読み取り場面（教師による観察） ●事後のワークシート
[読む能力]				
味語の句理解意	ア 抽象的な概念を表す語句や心情を表す語句などに注意して読むこと。			
文章の解釈	イ 文章全体と部分の関係、例示や描写の効果、登場人物の言動の意味などを考え、内容の理解に役立てること。	・描写の効果や登場人物の言動の意味などを考えて古文や漢文の内容を理解し、自分の感想をもっている。（イ）	<1>描写の効果を考えて内容を理解する <2>登場人物の言動の意味を考えて内容を理解する <3>自分の感想をもつ	【読む3-問一】 【読む4-問一】 【読む3-問二】 ●読み取り場面（ワークシート）
考自分の形成	ウ 文章の構成や展開、表現の仕方について、根拠を明確にして自分の考えをまとめること。 エ 文章に表れているものの見方や考え方について、知識や体験と関連付けて自分の考えを持つこと。	・感想を交流するために、古文や漢文の構成や展開、描写や比喩などの表現について、具体的な部分を取り上げて考えをまとめている。（ウ） ・古文や漢文に表れているものの見方や考え方について、自分の知識や体験と関連付けて感想をまとめ、交流して深めている。（エ）	<1>感想を交流するために、構成や展開について具体的な部分を取り上げて考えをまとめる <2>感想を交流するために、描写や比喩の表現について具体的な部分を取り上げて考えをまとめる <3>自分の知識や体験と関連付けて感想をまとめる <4>感想を交流して深める	【読む3-問三】 【読む4-問二】 【読む3-問四】 【読む4-問三】 【読む3-問五】 【読む4-問四】 ●交流場面（ワークシート）
情読書活用	カ 多様な方法で選んだ本や文章などから適切な情報を得て、自分の考えをまとめること。			
言語についての知識・理解・技能				
ア 伝統的な言語文化に関する事項	・作品の特徴を生かして朗読するなどして、古典の世界を楽しんでいる。（ア(ア)）		<1>作品の特徴を生かして朗読する <2>古典の世界を楽しむ	●朗読場面（教師による観察） ●まとめ場面（ワークシート）

言語活動例		イ 評論の文章を読み、内容や表現の仕方について自分の考えを述べる言語活動を通した指導		
① 学習指導要領の内容		② 評価規準の設定例（国立教育政策研究所）	③岩手の中学生に身に付けさせたい力	④問題番号 （●：授業中の活動）
[国語への関心・意欲・態度]				
		・評論の文章を読んで内容や表現の仕方について考え、自分のものの見方や考え方を広げようとしている。	<1>何についてどのように読めばよいかの見通しをもつ <2>目的に沿って読もうとしている <3>目的に沿って読むことができたかを振り返る	●事前のワークシート ●読み取り場面（教師による観察） ●事後のワークシート
[読む能力]				
味語の句理の解意	ア 抽象的な概念を表す語句や心情を表す語句などに注意して読むこと。	・評論の文章を読んで自分の考えを述べるために、論の展開の上で重要な役割を果たしている語句に注意しながら読んでいる。（ア）	<1>自分の考えを述べるために、論の展開の上で重要な役割を果たしている語句に注意しながら読む	【読む5-問一】【読む6-問一】
文章の解釈	イ 文章全体と部分の関係、例示や描写の効果、登場人物の言動の意味などを考え、内容の理解に役立てること。	・評論の文章を読んで自分の考えを述べるために、各段落が文章全体の中で果たしている役割をとらえたり、叙述の順序に注意して読んだりして、内容の理解に役立てている。（イ）	<1>自分の考えを述べるために、各段落が文章全体の中で果たしている役割をとらえる <2>自分の考えを述べるために、叙述の順序に注意して読む	【読む5-問二】【読む6-問二】 【読む5-問三】【読む6-問三】
考自分の形成	ウ 文章の構成や展開、表現の仕方について、根拠を明確にして自分の考えをまとめること。	・評論の文章を読んで、文章の構成や展開の工夫について、根拠となる部分をあげて自分の考えをもっている。（ウ）	<1>文章の構成や展開の工夫について、根拠となる部分をあげて自分の考えをもつ	【読む5-問四】【読む6-問四】
	エ 文章に表れているものの見方や考え方について、知識や体験と関連付けて自分の考えを持つこと。	・評論の文章を読んで、物事の善し悪しや価値等に関する書き手の考え方について、自分の知識や体験と関連付けながら考えをもっている。（エ）	<2>テーマについて、自分の知識や体験と関連付けながら考えをもつ	【読む5-問五】【読む6-問五】
情読書活用	カ 多様な方法で選んだ本や文章などから適切な情報を得て、自分の考えをまとめること。	・評論の文章のテーマについて、自分の考えを補強したり修正したりするために、図書館や情報通信ネットワークなどを活用して情報を探している。（オ）	<1>自分の考えを補強したり修正したりするために、図書館や情報通信ネットワークなどで情報を探す	●調査場面（ワークシート）
言語についての知識・理解・技能				
イ 言葉の特徴やきまりに関する事項 ウ 漢字に関する事項	・評論の文章を読む際に、重要な役割を果たしている抽象的な概念を表す語句に着目し、その語句が表す具体的な中身を考えている。（イ(イ)）		<1>抽象的な概念を表す語句に着目し、その語句が表す具体的な中身を考える	※【読む5-問一】※【読む6-問一】
	・評論の文章を読む際に、意味の取りにくい文について、主語と述語の照応、修飾語と被修飾語の照応を明らかにしながら理解している。（イ(ウ)）		<2>主語と述語の照応を明らかにして文を理解する。 <3>修飾語と被修飾語の照応を明らかにしながら文を理解する	●読み取り場面（ワークシート） ●読み取り場面（ワークシート）
	・文章に用いられている漢字を正しく読んでいる。（ウ(ア)）		<4>文章に用いられている漢字を正しく読む	●読み取り場面（教師による観察）

言語活動例		ウ 新聞で得た情報とインターネットで得た情報とを比較する言語活動を通した指導		
① 学習指導要領の内容		② 評価規準の設定例（国立教育政策研究所）	③岩手の中学生に身に付けさせたい力	④問題番号 （●：授業中の活動）
[国語への関心・意欲・態度]				
		・新聞とインターネットで得た情報を読み、情報の特徴について考えを深めようとしている。	<1>何についてどのように読めばよいかの見通しをもつ <2>目的に沿って読もうとしている <3>目的に沿って読むことができたかを振り返る	●事前のワークシート ●読み取り場面（教師による観察） ●事後のワークシート
[読む能力]				
味語の句理の解意	ア 抽象的な概念を表す語句や心情を表す語句などに注意して読むこと。	・情報の特徴を考えるために、新聞とインターネットの記事について、抽象的な概念を表す語句や書き手の思いを表す語句に注意して読んでいる。(ア)	<1>情報の特徴を考えるために、抽象的な概念を表す語句に注意して読む <2>情報の特徴を考えるために、書き手の思いを表す語句に注意して読む	【読む7-問一】 【読む7-問二】
	イ 文章全体と部分の関係、例示や描写の効果、登場人物の言動の意味などを考え、内容の理解に役立てること。	・情報の特徴を考えるために、新聞とインターネットの記事について、見出しと本文との関係、例示の効果等を比較して読んでいる。(イ)	<1>情報の特徴を考えるために、見出しと本文との関係を比較して読む <2>情報の特徴を考えるために、例示の効果等を比較して読む	【読む7-問四】 【読む7-問三】
考自の形成	ウ 文章の構成や展開、表現の仕方について、根拠を明確にして自分の考えをまとめること。	・新聞とインターネットの記事について、文章の構成や表現の仕方に着目し、具体的な箇所を引用しながら情報の特徴の違いをまとめている。(ウ)	<1>文章の構成に着目し、具体的な箇所を引用しながら情報の特徴の違いをまとめる <2>表現の仕方に着目し、具体的な箇所を引用しながら情報の特徴の違いをまとめる	【読む7-問五】 【読む7-問六】
	エ 文章に表れているものの見方や考え方について、知識や体験と関連付けて自分の考えを持つこと。	・情報の特徴について、自分の知識や体験と関連付けながら考えをまとめている。(エ)	<3>情報の特徴について、自分の知識や体験と関連付けながら考えをまとめる	【読む7-問七】
情読書活用	カ 多様な方法で選んだ本や文章などから適切な情報を得て、自分の考えをまとめること。	・自ら設定した課題について複数の方法で得た情報を比較し、目的や意図に応じて選択して自分の考えをまとめている。(カ)	<1>自ら設定した課題について複数の方法で得た情報を比較し、目的や意図に応じて選択して自分の考えをまとめる	●まとめ場面（ワークシート）
言語についての知識・理解・技能				
イ 言葉の特徴やきまりに関する事項	ウ 漢字に関する事項	・新聞とインターネットに出てくる抽象的な概念を表す語句や多義的な意味を表す語句について理解している。(イ(イ)) ・見出しなどにおける助詞や助動詞の効果について考えている。(イ(エ)) ・新聞とインターネットにおける文章の形態や展開の違いについて考えている。(イ(ウ)) ・文章に用いられている漢字を正しく読んでいる。(ウ(ア))	<1>抽象的な概念を表す語句について理解する <2>多義的な意味を表す語句について理解する <3>助詞や助動詞の効果について考える <4>文章の形態や展開の違いについて考える <5>文章に用いられている漢字を正しく読む	※【読む7-問一】 ●読み取り場面（ワークシート） ●読み取り場面（ワークシート） ※【読む7-問五】※【読む7-問六】 ●読み取り場面（教師による観察）

Ⅲ 第3学年

1 学年の目標

- (1) 目的や場面に応じ、社会生活にかかわることなどについて相手や場に応じて話す能力、表現の工夫を評価して聞く能力、課題の解決に向けて話し合う能力を身に付けさせるとともに、話したり聞いたりして考えを深めようとする態度を育てる。
- (2) 目的や意図に応じ、社会生活にかかわることなどについて、論理の展開を工夫して書く能力を身に付けさせるとともに、文章を書いて考えを深めようとする態度を育てる。
- (3) 目的や意図に応じ、文章の展開や表現の仕方などを評価しながら読む能力を身に付けさせるとともに、読書を通して自己を向上させようとする態度を育てる。

2 第3学年の評価の観点の趣旨

評価の観点	評価の趣旨
国語への関心・意欲・態度	国語で伝え合う力を進んで高めるとともに、国語に対する認識を深め、話したり聞いたり書いたりして考えを深め、読書を通して自己を向上させようとする。
話す・聞く能力	目的や場面に応じ相手の様子に合わせて話したり、表現の工夫を評価して聞いたり、課題の解決に向けて話し合ったりしている。
書く能力	目的や意図に応じ文章の形態を選択し、論理の展開を工夫して説得力のある文章を書いている。
読む能力	目的や意図に応じ文章の展開や表現の仕方などを評価しながら読み、人間、社会、自然などについて自分の意見をもっている
言語についての知識・理解・技能	伝統的な言語文化に親しんだり、言葉の特徴やきまり、漢字などについて理解し使ったりするとともに、身の回りの文字に関心を持ち、効果的に文字を書いている。

3 学習指導要領の内容、内容のまとめりごとの評価規準に盛り込むべき事項及び評価規準の設定例

(1) 「A話すこと・聞くこと」

【学習指導要領の内容】

- (1) 話すこと・聞くことの能力を育成するため、次の事項について指導する。
- ア 社会生活の中から話題を決め、自分の経験や知識を整理して考えをまとめ、語句や文を効果的に使い、資料などを活用して説得力のある話をする。
 - イ 場の状況や相手の様子に応じて話すとともに、敬語を適切に使うこと。
 - ウ 聞き取った内容や表現の仕方を評価して、自分のものの見方や考え方を深めたり、表現に生かしたりすること。
 - エ 話し合いが効果的に展開するように進行の仕方を工夫し、課題の解決に向けて互いの考えを生かし合うこと。
 - ・ 関連する〔伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項〕を含む。
- (2) (1)に示す事項については、例えば、次のような言語活動を通して指導するものとする。
- ア 時間や場の条件に合わせてスピーチをしたり、それを聞いて自分の表現の参考にしたりすること。
 - イ 社会生活の中の話題について、相手を説得するために意見を述べ合うこと。

【「A 話すこと・聞くこと」の評価規準に盛り込むべき事項】

評価の観点	評価規準
国語への関心・意欲・態度	<ul style="list-style-type: none"> ・目的や場面に応じ、相手の様子に合わせて話したり、表現の工夫を評価して聞いたり、課題の解決に向けて話し合ったりしようとしている。
話す・聞く能力	<ul style="list-style-type: none"> ・社会生活の中から話題を決め、自分の経験や知識を整理して考えをまとめ、語句や文を効果的に使い資料などを活用して説得力のある話をしている。(ア) ・場の状況や相手の様子に応じて話すとともに、敬語を適切に使っている。(イ) ・聞き取った内容や表現の仕方を評価して、自分のものの見方や考え方を深めたり、表現に生かしたりしている。(ウ) ・話合いが効果的に展開するように進行の仕方を工夫し、課題の解決に向けて互いの考えを生かし合っている。(エ)
言語についての知識・理解・技能	<ul style="list-style-type: none"> ・時間の経過による言葉の変化や世代による言葉の違いを理解して話すとともに、敬語を社会生活の中で適切に使っている。(イ(ア)) ・慣用句・四字熟語などに関する知識を広げ、和語・漢語・外来語などの使い分けに注意して話し、語感を磨き語彙を豊かにしている。(イ(イ))

『A 話すこと・聞くこと』における対応表（学習指導要領の内容、評価規準の設定例、岩手の中学生に身に付けさせたい力、教科書の単元、問題番号）

言語活動例		ア 時間や場の条件に合わせてスピーチをしたり、それを聞いて自分の表現の参考にしたりする言語活動を通した指導			
① 学習指導要領の内容	② 評価規準の設定例（国立教育政策研究所）	③岩手の中学生に身に付けさせたい力		④問題番号 （●：授業中の活動）	
[国語への関心・意欲・態度]					
	・社会生活の中の様々な話題に関心を持ち、スピーチを通して、自分の意見や感想を聞き手が納得できるように伝えようとしている。	<1>何についてどのようにスピーチすればよいかの見通しをもつ <2>目的に沿って工夫してスピーチしようとしている <3>目的に沿って工夫してスピーチできたかを振り返る		●事前のワークシート ●スピーチ場面（教師による観察） ●事後のワークシート	
[話す・聞く能力]					
話 や 題 取 設 材 定	ア 社会生活の中から話題を決め、自分の経験や知識を整理して考えをまとめ、語句や文を効果的に使い、資料などを活用して説得力のある話をする。	・社会生活にかかわる話題についてスピーチをするために、これまでの学習や体験を踏まえて自分の意見や感想をまとめている。(ア) ・自分の考えについて説得力を増すために、話し方を工夫したり資料などを活用したりしてスピーチをしている。(ア)	<1>学習や体験を生かして意見や感想をまとめる <2>説得力を増すために、話し方を工夫してスピーチする <3>説得力を増すために、資料を活用してスピーチする		【話聞1-問一】【話聞3-問一】
	イ 場の状況や相手の様子に応じて話すとともに、敬語を適切に使うこと。	・聞き手の人数や立場、会場の様子などの条件に応じて話し方や言葉遣いを工夫したり、聞き手の反応に応じて言い換えたりしながらスピーチをしている。(イ)	<4>聞き手の人数や立場、会場の様子などの条件に応じて話し方や言葉遣いを工夫してスピーチする <5>聞き手の反応に応じて言い換えながらスピーチする		【話聞1-問三】【話聞3-問三】 【話聞1-問四】
聞 く こ と	ウ 聞き取った内容や表現の仕方を評価して、自分のものの見方や考え方を深めたり、表現に生かしたりすること。	・スピーチを聞いて、話の内容についての賛否や話し方についての適否などを判断し、自分のものの見方や考え方を深めたり、自分の話し方の参考にしたりしている。(ウ)	<1>スピーチを聞いて、話の内容についての賛否を判断する <2>スピーチを聞いて、話し方の適否について判断する <3>スピーチを聞いて、自分の物の見方や考え方を深める <4>スピーチを聞いて、自分の話し方の参考にする		【話聞2-問二】 【話聞2-問一】【話聞3-問四】 ●聞き取り場面(ワークシート) ●聞き取り場面(ワークシート)
話 う し こ 合 と	エ 話し合いが効果的に展開するように進行の仕方を工夫し、課題の解決に向けて互いの考えを生かし合うこと。	・スピーチを聞いて、質疑応答や意見交換をして、話題についての考えを深めている。(エ)	<1>スピーチを聞いて、質疑応答や意見交換をする <2>スピーチや話し合いから話題についての考えを深める		【話聞2-問三】 ●学習のまとめ場面(ワークシート)
言語についての知識・理解・技能					
イ	言葉の特徴や決まりに関する事項	・社会生活における敬語の役割を理解して話している。(イ(ア)) ・目的に応じて、和語・漢語・外来語などの使い分けに注意してスピーチをしている。(イ(イ))	<1>敬語の役割を理解して話す <2>和語・漢語・外来語の使い分けに注意してスピーチする		●スピーチ場面（教師による観察） ●スピーチ場面（教師による観察）

言語活動例		イ 社会生活の中の話題について、相手を説得するために意見を述べ合う言語活動を通した指導		
① 学習指導要領の内容		② 評価規準の設定例（国立教育政策研究所）	③岩手の中学生に身に付けさせたい力	④問題番号 （●：授業中の活動）
[国語への関心・意欲・態度]				
		・社会生活の中の話題に関心をもち、課題の解決に向けて積極的に話し合い、互いの意見や考えを生かそうとしている。	<1>何についてどのように話し合えばよいかの見通しをもつ <2>目的に沿って工夫して話し合おうとしている <3>目的に沿って工夫して話し合えたかを振り返る	●事前のワークシート ●話し合い場面（教師による観察） ●事後のワークシート
[話す・聞く能力]				
話 題 取 設 材 定	ア 社会生活の中から話題を決め、自分の経験や知識を整理して考えをまとめ、語句や文を効果的に使い、資料などを活用して説得力のある話をする事。	・相手を説得するために、根拠を明確にしたり、聞き手の理解を助ける工夫をしたりしている。（ア）	<1>相手を説得するための根拠を明確にする <2>聞き手の理解を助ける工夫をする	【話聞4-問1】【話聞5-問1】 【話聞4-問2】
話 す こ と	イ 場の状況や相手の様子に応じて話すとともに、敬語を適切に使うこと。	・他の人の意見や考えを踏まえるとともに、場に合った言葉遣いで自分の意見を述べている。（イ）	<1>他の人の意見や考えをふまえて自分の意見を述べる <2>場に応じた言葉遣いで自分の意見を述べる	【話聞4-問3】【話聞5-問2】 【話聞4-問4】【話聞5-問3】
聞 く こ と	ウ 聞き取った内容や表現の仕方を評価して、自分のものの見方や考え方を深めたり、表現に生かしたりすること。	・他の人の意見のよいところを指摘したり、調整の仕方を提案したりしながら、自分の意見を見直したり深めたりしている。（ウ）	<1>他の人の意見のよいところを指摘する <2>意見の調整の仕方を提案する <3>聞いたことをもとに、自分の意見を見直したり深めたりする	【話聞5-問4】 【話聞4-問5】 ●話し合い場面（ワークシート）
話 う し こ 合 と	エ 話し合いが効果的に展開するように進行の仕方を工夫し、課題の解決に向けて互いの考えを生かし合うこと。	・課題の解決に向けて、より多くの発言を求めたり、意見の調整の仕方を提案したりするなど、話し合いの進め方を工夫して話し合っている。（エ）	<1>課題の解決に向けて、より多くの発言を求める <2>課題の解決に向けて、意見の調整の仕方を提案する	【話聞5-問5】 ※【話聞4-問5】
言語についての知識・理解・技能				
イ 言葉の特徴や決まりに関する事項	・建設的に話し合えるよう、敬語など言葉遣いに注意している。（イ(ア)）		<1>敬語など言葉遣いに注意する	※【話聞4-問4】※話聞5-問2】

(2) 「B書くこと」

【学習指導要領の内容】

(1) 書くことの能力を育成するため、次の事項について指導する。

- ア 社会生活の中から課題を決め、取材を繰り返しながら自分の考えを深めるとともに、文章の形態を選択して適切な構成を工夫すること。
- イ 論理の展開を工夫し、資料を適切に引用するなどして、説得力のある文章を書くこと。
- ウ 書いた文章を読み返し、文章全体を整えること。
- エ 書いた文章を互いに読み合い、論理の展開の仕方や表現の仕方などについて評価して自分の表現に役立てるとともに、ものの見方や考え方を深めること。
 - ・ 関連する〔伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項〕を含む。

(2) (1)に示す事項については、例えば、次のような言語活動を通して指導するものとする。

- ア 関心のある事柄について批評する文章を書くこと。
- イ 目的に応じて様々な文章などを集め、工夫して編集すること。

【「B 書くこと」の評価規準に盛り込むべき事項】

評価の観点	評価規準
国語への関心・意欲・態度	・ 目的や意図に応じ、文章の形態を選択し、論理の展開を工夫して説得力のある文章を書こうとしている。
書く能力	・ 社会生活の中から課題を決め、取材を繰り返しながら自分の考えを深めるとともに、文章の形態を選択して適切な構成を工夫している。(ア) ・ 論理の展開を工夫し、資料を適切に引用するなどして、説得力のある文章を書いている。(イ) ・ 書いた文章を読み返し、文章全体を整えている。(ウ) ・ 書いた文章を互いに読み合い、論理の展開の仕方や表現の仕方などについて評価して自分の表現に役立てるとともに、ものの見方や考え方を深めている。(エ)
言語についての知識・理解・技能	・ 時間の経過による言葉の変化や世代による言葉の違いを理解して書くとともに、敬語を社会生活の中で適切に使っている。(イ(ア)) ・ 慣用句・四字熟語などに関する知識を広げ、和語・漢語・外来語などの使い分けに注意して書き、語感を磨き語彙を豊かにしている。(イ(イ)) ・ 学年別漢字配当表に示されている漢字について、文や文章の中で使い慣れている。(ウ(イ)) [書写] ・ 身の回りの多様な文字に関心をもち、効果的に文字を書いている。(ア)

『B 書くこと』における対応表（学習指導要領の内容，評価規準の設定例，岩手の中学生に身に付けさせたい力，問題番号）

言語活動例		ア 関心のある事柄について批評する文章を書く言語活動を通した指導			
① 学習指導要領の内容		② 評価規準の設定例（国立教育政策研究所）	③岩手の中学生に身に付けさせたい力	④問題番号 （●：授業中の活動）	
[国語への関心・意欲・態度]					
		・社会生活の中の事柄について，自分の立場や意見を明確にして批評する文章を書こうとしている。	<1>何についてどのように書けばよいかの見通しをもつ <2>目的に沿って工夫して書こうとしている <3>目的に沿って工夫して書けたかを振り返る	●事前のワークシート ●記述場面（教師による観察） ●事後のワークシート	
[書く能力]					
題 や 材 取 設 材 定	ア	社会生活の中から課題を決め，取材を繰り返しながら自分の考えを深めるとともに，文章の形態を選択して適切な構成を工夫すること。	・複数の資料を集めたり取材を繰り返したりして，批評にあたっての自分の立場や意見の中心を明確にしている。（ア）	<1>複数の資料を集め，自分の立場や意見の中心を明確にする <2>取材を繰り返し，自分の立場や意見の中心を明確にする	【書く1-問一】 【書く1-問二】【書く2-問一】
	構成				
記 述	イ	論理の展開を工夫し，資料を適切に引用するなどして，説得力のある文章を書くこと。	・判断や評価の理由や根拠となる適切な資料を引用して，説得力のある批評の文章を書いている。（イ）	<1>判断や評価の理由や根拠となる適切な資料を引用して，説得力のある批評の文章を書く	【書く1-問三】【書く2-問二】
推 敲	ウ	書いた文章を読み返し，文章全体を整えること。	・論理の展開が明確な批評の文章になるように，判断や評価の理由や資料の引用が適切かどうかを考えて，文章全体を整えている。（ウ）	<1>論理の展開が明確な批評の文章になるように，判断や評価の理由が適切かどうか考えて，文章全体を整える <2>論理の展開が明確な批評の文章になるように，資料の引用が適切かどうかを考えて，文章全体を整える	【書く1-問四】 ※【書く1-問三】 【書く2-問三】
交 流	エ	書いた文章を互いに読み合い，論理の展開の仕方や表現の仕方などについて評価して自分の表現に役立てるとともに，ものの見方や考え方を深めること。	・書いた批評の文章を読み合い，結論に導くための根拠の取り上げ方や論理の展開の仕方について評価し，自分のものの見方や考え方を深めている。（エ）	<1>書いた批評の文章を読み合い，結論に導くための根拠の取り上げ方について評価する <2>書いた批評の文章を読み合い，結論に導くための論理の展開の仕方について評価する <3>自分のものの見方や考え方を深める	【書く1-問五】【書く2-問四】 【書く2-問五】 ●交流場面（ワークシート）
言語についての知識・理解・技能					
イ ま り に 関 す る 事 項	ウ	漢字に関する事項	・和語・漢語・外来語の言葉のニュアンスを知り，適切な語句を選択している。（イ(イ)）	<1>和語・漢語・外来語の言葉のニュアンスを知り，適切な語句を選択する	●記述場面（ワークシート）
	ウ	漢字に関する事項	・学年別漢字配当表に示されている漢字を適切に使って文章を書いている。（ウ(イ)）	<2>学年別漢字配当表に示されている漢字を適切に使って文章を書く	●記述場面（ワークシート）

言語活動例		イー1 様々な文章を集め、工夫して文集を編集する言語活動を通した指導		
① 学習指導要領の内容		② 評価規準の設定例 (国立教育政策研究所)	③岩手の中学生に身に付けさせたい力	④問題番号 (●: 授業中の活動)
[国語への関心・意欲・態度]				
		・テーマに即して様々な文章を集め、進んで文集にまとめようとしている。	<1>何についてどのように書けばよいかの見通しをもつ <2>目的に沿って工夫して書こうとしている <3>目的に沿って工夫して書けたかを振り返る	●事前のワークシート ●記述場面 (教師による観察) ●事後のワークシート
[書く能力]				
題 や 材 取 設 材 定	ア 社会生活の中から課題を決め、取材を繰り返しながら自分の考えを深めるとともに、文章の形態を選択して適切な構成を工夫すること。	・テーマに即した文集を作るために、自分の課題を決め、今まで書いた文章や関連する資料などを集めている。(ア)	<1>テーマに即した文集を作るために、自分の課題を決める <2>今まで書いた文章や関連する資料などを集める	●課題決定場面 (教師による観察) 【書く3-問一】【書く4-問一】
構 成		・集めた文章や資料を整理しながら自分の考えを深め、文集の構成を工夫している。(ア)	<3>集めた文章や資料を整理しながら自分の考えを深める。 <4>集めた文章や資料を整理しながら文集の構成を工夫する	●資料整理場面 【書く3-問二】【書く3-問三】 【書く4-問二】【書く4-問三】
記 述	イ 論理の展開を工夫し、資料を適切に引用するなどして、説得力のある文章を書くこと。	・集めた文章や資料を適切に組み合わせながら全体の構成を工夫し、読み手を引きつける文集を編集している。(イ)	<1>集めた文章や資料を適切に組み合わせながら全体の構成を工夫し、読み手を引きつける文集を編集する	【書く3-問四】【書く4-問四】
推 敲	ウ 書いた文章を読み返し、文章全体を整えること。	・編集した文集を読み返し、テーマに対する自分の考えが効果的に伝わるよう、全体の構成を見直したり、見出しや目次を付けたりして、文集の体裁を整えている。(ウ)	<1>テーマに対する自分の考えが効果的に伝わるよう、全体の構成を見直し、文集の体裁を整える <2>テーマに対する自分の考えが効果的に伝わるよう、見出しや目次を付けて、文集の体裁を整える	【書く3-問六】 【書く3-問五】【書く4-問五】
交 流	エ 書いた文章を互いに読み合い、論理の展開の仕方や表現の仕方などについて評価して自分の表現に役立てるとともに、ものの見方や考え方を深めること。	・文集を互いに読み合い、全体の構成の仕方や表現の仕方などについて評価し、自分の表現に役立てている。(エ)	<1>文集を互いに読み合い、全体の構成の仕方や表現の仕方などについて評価する <2>お互いの評価を、自分の表現に役立てる	【書く4-問六】【書く4-問七】 ●記述場面 (ワークシート)
言語についての知識・理解・技能				
ア 伝統的な言語文化に関する事項	・読み手を想定して、必要な箇所で敬語を適切に使って書いている。(イ(ア)) ・自分の意見や考えを最も効果的に表現するために、慣用句や四字熟語を活用したり、和語・漢語・外来語を使い分けたりして書いている。(イ(イ)) ・学年別漢字配当表に示されている漢字を適切に使って文章を書いている。(ウ(イ)) [書写] ・文集の見出しや本文等に応じて、書体を使い分けたり筆記具を工夫したりして書いている。(ア)		<1>読み手を想定して、必要な箇所で敬語を適切に使って書く	●記述場面 (ワークシート)
イ 言葉の特徴やきまりに関する事項			<2>自分の意見や考えを最も効果的に表現するために、慣用句や四字熟語を活用する	●記述場面 (ワークシート)
ウ 漢字に関する事項			<3>自分の意見や考えを最も効果的に表現するために、和語・漢語・外来語を使い分けて書く	●記述場面 (ワークシート)
			<4>学年別漢字配当表に示されている漢字を適切に使って文章を書く	●記述場面 (ワークシート)
			<5>文集の見出しや本文等に応じて、書体を使い分けたり筆記具を工夫したりして書く	●記述場面 (ワークシート)

言語活動例		イー2 古典を含む様々な文章を集め、工夫して文集を編集する言語活動を通した指導		
① 学習指導要領の内容		② 評価規準の設定例（国立教育政策研究所）	③岩手の中学生に身に付けさせたい力	④問題番号 ●：授業中の活動
[国語への関心・意欲・態度]				
		・テーマに即して様々な文章を集め、進んで文集にまとめようとしている。	<1>何についてどのように書けばよいかの見通しをもつ <2>目的に沿って工夫して書こうとしている <3>目的に沿って工夫して書けたかを振り返る	●事前のワークシート ●記述場面（教師による観察） ●事後のワークシート
[書く能力]				
題材設定	ア 社会生活の中から課題を決め、取材を繰り返しながら自分の考えを深めるとともに、文章の形態を選択して適切な構成を工夫すること。			
構成				
記述	イ 論理の展開を工夫し、資料を適切に引用するなどして、説得力のある文章を書くこと。	・全体の構成を工夫し、古典の原文や現代語訳等を適切に引用するなどして、テーマに即した文集を編集している。（イ）	<1>全体の構成を工夫して、テーマに即した文集を編集する <2>古典の原文や現代語訳等を適切に引用して、テーマに即した文集を編集する	【書く5-問一】【書く6-問一】 【書く5-問二】【書く6-問二】
推敲	ウ 書いた文章を読み返し、文章全体を整えること。			
交流	エ 書いた文章を互いに読み合い、論理の展開の仕方や表現の仕方などについて評価して自分の表現に役立てるとともに、ものの見方や考え方を深めること。	・文集を互いに読み合い、全体の構成の仕方や引用の仕方などについて評価し、自分の表現に役立てるとともに、ものの見方や考え方を深めている。（エ）	<1>文集を互いに読み合い、全体の構成の仕方について評価する <2>文集を互いに読み合い、引用の仕方について評価する <3>評価したことを自分の表現に役立てる <4>ものの見方や考え方を深める	【書く5-問三】【書く6-問四】 ※【書く5-問三】※【書く6-問三】 ●記述場面（ワークシート） ●交流場面（ワークシート）
言語についての知識・理解・技能				
ア 伝統的な言語文化に関する事項	・文集のテーマに即して古典の一節を引用し、それについての自分の考えや感想などを書いている。（ア(イ)）		<1>文集のテーマに即して古典の一節を引用する <2>引用した古典の一節についての自分の考えや感想などを書く	※【書く5-問二】※【書く6-問二】 【書く6-問三】

(3) 「C読むこと」

【学習指導要領の内容】

(1) 読むことの能力を育成するため、次の事項について指導する。

- ア 文脈の中における語句の効果的な使い方など、表現上の工夫に注意して読むこと。
 - イ 文章の論理の展開の仕方、場面や登場人物の設定の仕方をとらえ、内容の理解に役立てること。
 - ウ 文章を読み比べるなどして、構成や展開、表現の仕方について評価すること。
 - エ 文章を読んで人間、社会、自然などについて考え、自分の意見をもつこと。
 - オ 目的に応じて本や文章などを読み、知識を広げたり、自分の考えを深めたりすること。
 - ・ 関連する〔伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項〕を含む。
- (2) (1)に示す事項については、例えば、次のような言語活動を通して指導するものとする。
- ア 物語や小説などを読んで批評すること。
 - イ 論説や報道などに盛り込まれた情報を比較して読むこと。
 - ウ 自分の読書生活を振り返り、本の選び方や読み方について考えること。

【「C 読むこと」の評価規準に盛り込むべき事項】

評価の観点	評価規準
国語への関心・意欲・態度	・ 目的や意図に応じ、文章の展開や表現の仕方などを評価しながら読み、人間、社会、自然などについて自分の意見をもとうとしている。
書く能力	<ul style="list-style-type: none"> ・ 文脈の中における語句の効果的な使い方など、表現上の工夫に注意して読んでいる。(ア) ・ 文章の論理の展開の仕方、場面や登場人物の設定の仕方をとらえ、内容の理解に役立てている。(イ) ・ 文章を読み比べるなどして、構成や展開、表現の仕方について評価している。(ウ) ・ 文章を読んで人間、社会、自然などについて考え、自分の意見をもっている。(エ) ・ 目的に応じて本や文章などを読み、知識を広げたり、自分の考えを深めたりしている。(オ)
言語についての知識・理解・技能	<ul style="list-style-type: none"> ・ 歴史的背景などに注意して古典を読み、その世界に親しんでいる。(ア(ア)) ・ 古典の一節を引用するなどして、古典に関する簡単な文章を書いている。(ア(イ)) ・ 時間の経過による言葉の変化や世代による言葉の違いを理解して読んでいる。(イ(ア)) ・ 慣用句・四字熟語などに関する知識を広げ、和語・漢語・外来語などの使い分けに注意して読み、語感を磨き語彙を豊かにしている。(イ(イ)) ・ 第2学年までに学習した常用漢字に加え、その他の常用漢字の大体を読んでいる。(ウ(ア))

『C 読むこと』における対応表（学習指導要領の内容、評価規準の設定例、岩手の中学生に身に付けさせたい力、問題番号）

言語活動例		アー1 小説を読んで批評する言語活動を通した指導			
① 学習指導要領の内容		② 評価規準の設定例（国立教育政策研究所）	③岩手の中学生に身に付けさせたい力		④問題番号 （●：授業中の活動）
[国語への関心・意欲・態度]					
		・小説を読み、展開や表現の仕方を評価して自分の考えを深めようとしている。	<1>何についてどのように読めばよいかの見通しをもつ <2>目的に沿って読もうとしている <3>目的に沿って読むことができたかを振り返る		●事前のワークシート ●読み取り場面（教師による観察） ●事後のワークシート
[読む能力]					
味語の句理解意	ア 文脈の中における語句の効果的な使い方など、表現上の工夫に注意して読むこと。	・小説を読んで批評するために、語句の用い方の効果など、表現上の工夫に注意して読んでいる。（ア）	<1>語句の用い方の効果など、表現上の工夫に注意して読む		【読む1-問一】【読む2-問二】
文章の解釈	イ 文章の論理の展開の仕方、場面や登場人物の設定の仕方をとらえ、内容の理解に役立てること。	・小説を読んで批評するために、場面や登場人物の設定の仕方をとらえて、文章全体の理解を深めている。（イ）	<1>場面の設定の仕方をとらえて、文章全体の理解を深める <2>登場人物の設定の仕方をとらえて、文章全体の理解を深める		【読む1-問二】【読む2-問二】 【読む1-問三】【読む2-問三】
考自分の形成	ウ 文章を読み比べるなどして、構成や展開、表現の仕方について評価すること。	・他の小説と読み比べて、構成や展開、表現の仕方の違いに気付き、文章の形式の特徴や効果について評価している。（ウ）	<1>他の小説と読み比べて、構成や展開の違いに気付く <2>他の小説と読み比べて、表現の仕方の違いに気付く <3>気付いたことをもとに、文章の形式や効果について評価する		【読む1-問四】【読む2-問四】 【読む1-問五】【読む2-問五】 【読む1-問六】【読む2-問六】
エ	文章を読んで人間、社会、自然などについて考え、自分の意見を持つこと。	・小説を読んで、文章に表れているものの見方や考え方の違いを整理し、人間、社会、自然などについて自分の意見をもっている。（エ）	<4>文章に表れているものの見方や考え方の違いを整理する <5>整理したことをもとに、人間、社会、自然などについて自分の意見をもつ		【読む1-問七】【読む2-問七】 ●記述場面（ワークシート）
情報書活と用	オ 目的に応じて本や文章などを読み、知識を広げたり、自分の考えを深めたりすること。	・同じ作家の複数の小説、類似したテーマの小説等を読み比べるなどして、新しい魅力を知ったり自分の考えを深めたりしている。（オ）	<1>同じ作家の複数の小説を読み比べ、新しい魅力を知ったり自分の考えを深めたりする <2>類似したテーマの小説等を読み比べ、新しい魅力を知ったり自分の考えを深めたりする		●読書場面（教師による観察） ●読書場面（教師による観察）
言語についての知識・理解・技能					
イ	言葉の特徴やきまりに関する事項	・小説が書かれた時代の言葉の意味や使われ方に着目し、時間の経過による言葉の変化に注意して読んでいる。（イ(ア)）	<1>小説が書かれた時代の言葉の意味や使われ方に着目し、時間の経過による言葉の変化に注意して読む		●読み取り場面（教師による観察）
ウ	漢字に関する事項	・文章に用いられている漢字を正しく読んでいる。（ウ(ア)）	<2>文章に用いられている漢字を正しく読む		●読み取り場面（教師による観察）

言語活動例	アー2 古文や漢文などを様々な見方で読み味わう言語活動を通した指導		
① 学習指導要領の内容	② 評価規準の設定例 (国立教育政策研究所)	③岩手の中学生に身に付けさせたい力	④問題番号 (●: 授業中の活動)
[国語への関心・意欲・態度]			
	・古文や漢文を読み、様々な見方で読み味わって自分の意見をもとうとしている。	<1>何についてどのように読めばよいかの見通しをもつ <2>目的に沿って読もうとしている <3>目的に沿って読むことができたかを振り返る	●事前のワークシート ●読み取り場面 (教師による観察) ●事後のワークシート
[読む能力]			
味語の句理の解意	ア 文脈の中における語句の効果的な使い方など、表現上の工夫に注意して読むこと。		
文章の解釈	イ 文章の論理の展開の仕方、場面や登場人物の設定の仕方をとらえ、内容の理解に役立てること。	・古文や漢文を様々な観点で読み味わうために、場面や登場人物の設定の仕方をとらえて、文章全体の理解を深めている。(イ) <1>古典や漢文の場面の設定の仕方をとらえる <2>古典や漢文の登場人物の設定の仕方をとらえる <3>様々な観点で読み味わうために、とらえたことをもとにして文章全体の理解を深める	【読む3-問一】 【読む3-問二】 【読む4-問一】 【読む3-問三】 【読む4-問三】
考自え分のの形成	ウ 文章を読み比べるなどして、構成や展開、表現の仕方について評価すること。 エ 文章を読んで人間、社会、自然などについて考え、自分の意見を持つこと。	・古文や漢文を読んで、文章に表れているものの見方や考え方の違いを整理し、人間、社会、自然などについて自分の意見をもっている。(エ) <1>古文や漢文を読んで、文章に表れているものの見方や考え方の違いを整理する <2>古文や漢文を読んで、人間、社会、自然などについて自分の意見をもつ	【読む3-問四】 【読む4-問四】 【読む3-問五】 【読む4-問五】
情読報書活用の	オ 目的に応じて本や文章などを読み、知識を広げたり、自分の考えを深めたりすること。	・同じ作品の中の複数の文章、類似したテーマの文章等を読み比べるなどして、新しい魅力を知ったり自分の考えを深めたりしている。(オ) <1>同じ作品の中の複数の文章を読み比べ、新しい魅力を知ったり自分の考えを深めたりする <2>類似したテーマの文章を読み比べ、新しい魅力を知ったり自分の考えを深めたりする	●読書場面 (教師による観察) ●読書場面 (教師による観察)
言語についての知識・理解・技能			
ア 伝統的な言語文化に関する事項	・歴史的背景などに注意して古典を読み、その世界に親しんでいる。(ア(7))	<1>歴史的背景などに注意して古典を読み、その世界に親しむ	●読書場面 (教師による観察)

言語活動例		イ 報道された情報を比較して読む言語活動を通した指導		
① 学習指導要領の内容		② 評価規準の設定例 (国立教育政策研究所)	③岩手の中学生に身に付けさせたい力	④問題番号 (●: 授業中の活動)
[国語への関心・意欲・態度]				
		・報道された情報に関心を持ち、進んで比較して読んで、自分の考えをもとうとしている。	<1>何についてどのように読めばよいかの見通しをもつ <2>目的に沿って読もうとしている <3>目的に沿って読むことができたかを振り返る	●事前のワークシート ●読み取り場面 (教師による観察) ●事後のワークシート
[読む能力]				
味語の句理解意	ア 文脈の中における語句の効果的な使い方など、表現上の工夫に注意して読むこと。	・報道された情報を比較して自分の考えをもつために、語句の使い方など書き手の工夫に注意して読んでいる。(ア)	<1>語句の使い方など書き手の工夫に注意して読む	【読む5-問一】【読む6-問一】
文章の解釈	イ 文章の論理の展開の仕方、場面や登場人物の設定の仕方をとらえ、内容の理解に役立てること。	・報道された情報を比較して自分の考えをもつために、文章の論理の展開の仕方をとらえて内容を的確に理解している。(イ)	<1>文章の論理の展開の仕方をとらえて内容を的確に理解する	【読む5-問二】【読む6-問二】
考自分の形成	ウ 文章を読み比べるなどして、構成や展開、表現の仕方について評価すること。 エ 文章を読んで人間、社会、自然などについて考え、自分の意見を持つこと。	・報道された情報について、構成や展開、表現の仕方などの特徴や効果をまとめ、評価している。(ウ) ・報道された情報を比較し、述べられている内容について、立場を明らかにして自分の意見をもっている。(エ)	<1>構成や展開の特徴や効果をまとめ、評価する <2>表現の仕方の特徴や効果をまとめ、評価する <3>情報を比較し、述べられている内容について、立場を明らかにして自分の意見をもつ	【読む5-問三】【読む6-問三】 【読む5-問四】【読む6-問四】 【読む5-問五】【読む6-問五】
情報書と活用	オ 目的に応じて本や文章などを読み、知識を広げたり、自分の考えを深めたりすること。	・報道された情報に関連した本や文章を図書館などで探して読み、知識を広げたり自分の考えを深めたりしている。(オ)	<1>関連した本や文章を図書館などで探して読み、知識を広げたり自分の考えを深めたりする	●読書場面 (教師による観察)
言語についての知識・理解・技能				
イ 言葉の特徴やきまりに関する事項	ウ 漢字に関する事項	・新聞や雑誌等に盛り込まれた情報を読む際に、和語・漢語・外来語などの使い分けに注意している。(イ(イ)) ・新聞や雑誌等の文章に用いられている漢字を正しく読んでいる。(ウ(ウ))	<1>新聞や雑誌等に盛り込まれた情報を読む際に、和語・漢語・外来語などの使い分けに注意する <2>新聞や雑誌等の文章に用いられている漢字を正しく読む	●読み取り場面 (教師による観察) ●読み取り場面 (教師による観察)